

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY



2024年度

酪農学園大学

受験ガイド

2024 Entrance Exam Info



生きるを学ぶ。学びが生きる。

酪農学園大学

社会情勢の変化等により、やむを得ず「受験ガイド」に記載の内容を変更する可能性があります。変更が生じた場合は、速やかに本学ホームページ「受験生サイト」に掲載いたしますので、随時ご確認いただきますようお願いいたします。

なお、入学試験の詳細については、6月中旬に「受験生サイト」に掲載される「2024入学試験要項」を必ずご確認ください。

酪農学園大学
公式サイト



酪農学園大学は、2020年度（公財）日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において大学評価基準に適合していると認定されました。

学群・学類・コース制で、学びの自由度が広がります。

農・食・環境・生命を科学する、酪農学園大学へ。

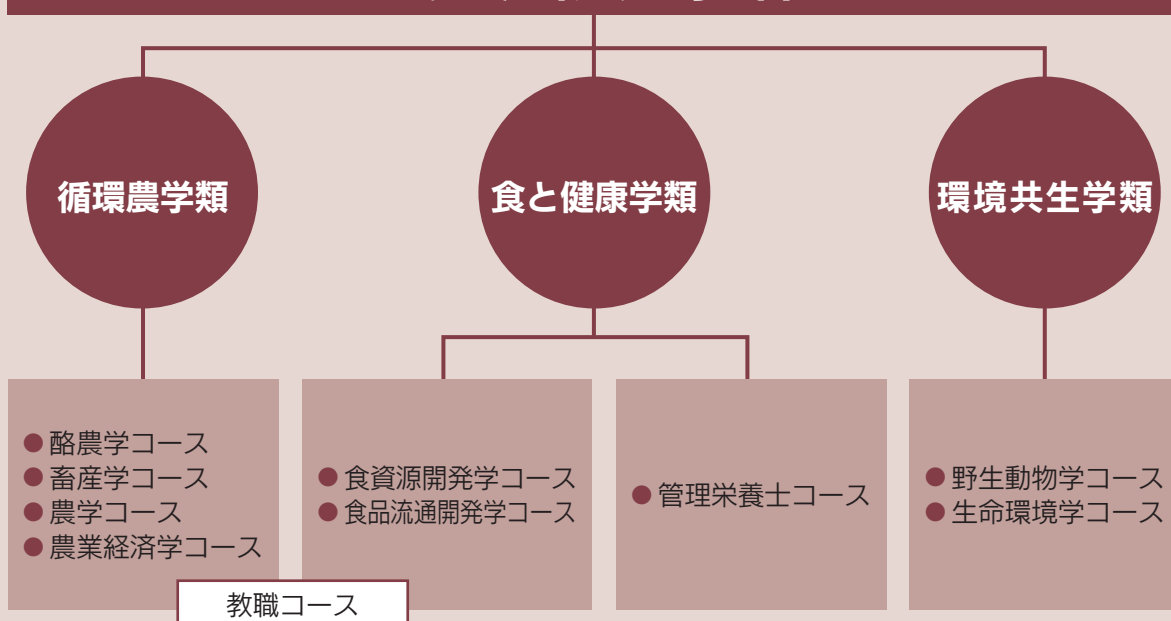
酪農学園大学「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)

酪農学園大学は、農業を基幹産業とする自然豊かな北海道の大地で学ぶことを望み、
「農・食・環境・生命」に関する専門的知識と技能を習得し、
地域と世界の持続的な発展に貢献する意欲にあふれ、
主体性を持ち多様な人々と協働して学修する人を求めています。

学群・学類・コース

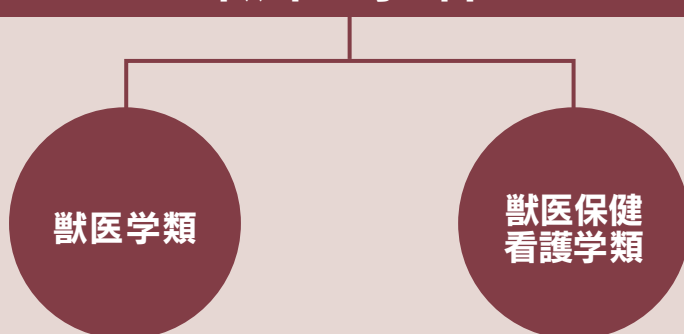
学びのフィールドは2学群、5学類、10コースで構成されています。

農食環境学群



※教職コースの学生は循環農学類、食と健康学類のいずれかの学類に所属します。

獣医学群



学類・コースによって入試区分ごとに募集の有無が異なるのでお間違いのないようお願いいたします。

CONTENTS

はじめに	3	2023年度 入学試験結果	33
2024年度 入学試験制度	5	学群・学類・コース別結果一覧	
2024年度 入学試験日程		2023年度 推薦入学試験結果	
2024年度 試験地一覧		2023年度 学力入学試験結果	
2024年度 募集人員		2023年度 学力入学試験結果(合格者)	
大学入学資格		2023年度 学力入学試験科目別選択率	
推薦入学試験	7	2023年度 学力入学試験現浪比	
学力入学試験	20	出身都道府県別データ	
一般選抜		Web出願による出願の流れ	45
第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験		受験生のための入試Q&A	46
第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験		学納金・その他徴収金	49
大学入学共通テスト利用入学試験		奨学金制度	51
特別選抜試験	26	学生寮	52
社会人特別選抜試験		入試特待生・減免制度	53
外国人留学生入学試験		資格	55
編入学試験	30	ミニ出張オープンキャンパス	57
2年次編入学試験		学内見学受付中	58
3年次編入学試験			
3年次編入学試験(学校推薦型選抜)			

■2023年度 オープンキャンパス日程

来場型オープン キャンパス	第1回 7/22(土)・23(日)	第2回 9/16(土)・17(日)
WEBオープン キャンパス	第1回 5/20(土)	第2回 2024年 3/23(土)
出張オープン キャンパス	in 大阪 8/26(土)	in 東京 8/28(月)

※社会情勢の変化等により、日程が変更となる場合があります。最新情報は随時ホームページにてご案内いたします。

詳細は受験生サイトをチェック!

受験生サイト



はじめに

■入試区分および試験名称について

推薦入学試験

入試区分および試験名称	受験ガイドの一部で使用している略称
総合型選抜	総合型選抜
産業振興特別推薦入学試験	産業振興特別推薦
環境共生貢献推薦入学試験	環境共生貢献推薦
自己推薦入学試験（Ⅰ期）	自己推薦（Ⅰ期）
自己推薦入学試験（Ⅱ期）	自己推薦（Ⅱ期）
自己推薦入学試験（Ⅲ期）	自己推薦（Ⅲ期）
学校推薦型選抜（公募制）	学校推薦型選抜
一般推薦入学試験	一般推薦
生産動物医療推薦入学試験	生産動物医療推薦
動物病院後継者育成推薦入学試験	動物病院後継者育成推薦
農業高校および農業大学校推薦入学試験	農業高校および農業大学校推薦
学士等推薦入学試験	学士等推薦
生産動物看護部門推薦入学試験	生産動物看護部門推薦
アグリマイスター推薦入学試験	アグリマイスター推薦
日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験	日本学校農業クラブ活動特別推薦または農ク推薦
学校推薦型選抜（指定校制）	学校推薦型選抜
内部進学推薦入学試験	内部進学推薦
指定校推薦入学試験	指定校推薦
地域獣医療支援特別選抜入学試験	地域獣医療支援特別選抜

学力入学試験

入試区分および試験名称	受験ガイドの一部で使用している略称
一般選抜	一般選抜
第1期学力入学試験	第1期学力入試
第2期学力入学試験	第2期学力入試
第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 A日程・B日程	第1期学力・共通テスト併用型入試 A日程・B日程
第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験	第2期学力・共通テスト併用型入試
大学入学共通テスト利用入学試験（前期）	共通テスト利用入試（前期）
大学入学共通テスト利用入学試験（後期）	共通テスト利用入試（後期）

特別選抜試験

入試区分および試験名称	受験ガイドの一部で使用している略称
社会人特別選抜試験	社会人
外国人留学生入学試験	外国人

編入学試験（第1期・第2期）

入試区分および試験名称	受験ガイドの一部で使用している略称
2年次編入学試験	2年次編入
3年次編入学試験	3年次編入
3年次編入学試験（学校推薦型選抜）	3年次編入（学校推薦型選抜）

■2023年度入学試験 (2022年度実施) との主な変更点について

変更内容につきましては、以下のとおりです。

出願される際には、必ず「2024入学試験要項」をご確認ください。
※「2024入学試験要項」は6月中旬に本学受験生サイトにて公表予定です。

出願資格が変更となった入学試験

- (1) 対象試験名称：産業振興特別推薦入学試験 B推薦(後継者対象)
- (2) 対象学類：循環農学類
食と健康学類(管理栄養士コースを除く)
- (3) 出願資格の一部変更：

変更前

高等学校を卒業または2024年3月卒業見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.0以上の者
(浪人年数は問わない)

親族が農業を営んでおり、将来その経営を引き継ぐ意思のある者または、親族が事業(農業を除く)を営んでおり、卒業後にその経営を引き継ぎ、地域振興に寄与しようという意欲のある者
なお、「後継予定者確認書」(本学所定用紙)が必要となります。

変更後

高等学校を卒業または2024年3月卒業見込みの者で、全体の学習成績の状況が3.0以上の者
(浪人年数は問わない)

親族や知人等が農業を営んでおり、将来その経営を引き継ぐ意思のある者または、親族や知人等が事業(農業を除く)を営んでおり、卒業後にその経営を引き継ぎ、地域振興に寄与しようという意欲のある者

なお、「後継予定者確認書」(本学所定用紙)が必要となります。

※経営する者の対象を親族に限定していましたが、親族や知人等に拡大しました。

2024年度 入学試験制度

推薦入学試験・学力入学試験

入試日程・制度

推薦入学試験

学力入学試験

特別選抜試験

編入学試験

2023年度データ

Web出願方法

入学情報

2024年度 入学試験日程

入学試験は「学類」ごとに実施します。但し、管理栄養士コースのみ「コース」で入学試験を実施します。

また、内部進学推薦入学試験(酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校)の出願資格および入試日程については、別途「酪農学園大学入試要項 内部進学」(6月中旬公表予定)に定めます。

推薦入学試験(P7~)

総合型選抜、学校推薦型選抜

試験名称	試験日
産業振興特別推薦入試 環境共生貢献推薦入試 自己推薦入試 (I期)	10月22日(日)
農業大学校推薦入試 学士等推薦入試	11月25日(土)
指定校推薦入試(獣医学類を除く) アグリマイスター推薦入試 日本学校農業クラブ活動特別推薦入試	11月25日(土) 11月26日(日) ※本学会場は25日(土)、 東京および大阪会場は 26日(日)に実施
指定校推薦入試(獣医学類) 一般推薦入試 生産動物医療推薦入試 動物病院後継者育成推薦入試 農業高校推薦入試 生産動物看護部門推薦入試 地域獣医療支援特別選抜	11月26日(日)
自己推薦(II期)	2月4日(日)
自己推薦(III期) ※併願方式	3月18日(月)

学力入学試験(P20~)

試験名称	試験日
第1期学力・共通 テスト併用型入試 (A日程)	2月4日(日)
第1期学力入試	2月5日(月)
第1期学力・共通 テスト併用型入試 (B日程)	2月5日(月)
第2期学力入試	3月3日(日)
第2期学力・共通 テスト併用型入試	3月3日(日)

試験名称	試験日
共通テスト 利用入試 (前期)	本学独自の試験は 課しません。 ※1/13(土)・1/14(日) の大学入学共通テスト で、本学が指定する教科・ 科目を受験すること
共通テスト 利用入試 (後期)	本学独自の試験は 課しません。 ※1/13(土)・1/14(日) の大学入学共通テスト で、本学が指定する教科・ 科目を受験すること

2024年度 試験地一覧

本学
10/22(日)総合型選抜(産業振興・環境共生貢献・自己推薦(I期))
11/25(土)・11/26(日)学校推薦型選抜
2/4(日)総合型選抜(自己推薦(II期))
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)
3/3(日)第2期学力入試
3/3(日)第2期学力・共通テスト併用型入試
3/18(月)総合型選抜(自己推薦(III期))

仙台
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)

東京
11/26(日)学校推薦型選抜
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)
3/3(日)第2期学力入試
3/3(日)第2期学力・共通テスト併用型入試

名古屋
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)

福岡
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)

大阪
11/26(日)学校推薦型選抜
2/4(日)第1期学力・共通テスト併用型入試(A日程)
2/5(月)第1期学力入試
2/5(月)第1期学力・共通テスト併用型入試(B日程)
3/3(日)第2期学力入試
3/3(日)第2期学力・共通テスト併用型入試

2024年度 募集人員

※各入試区分の募集人員については、今後変更となる場合があります。

学群名称		農食環境学群				獣医学群	
学類およびコース名称		循環農学類	食と健康学類	食と健康学類 管理栄養士コース ^{※1}	環境共生学類	獣医学類	獣医保健 看護学類
定員		240	120	40	120	120	60
総合型選抜	産業振興特別推薦	20	4	2			
	環境共生貢献推薦				10		
	自己推薦（Ⅰ期）	15	17		8		
	自己推薦（Ⅱ期）	10	4		3		
	自己推薦（Ⅲ期）	若干名	若干名		若干名		
学校推薦型選抜	指定校推薦 ^{※2}	50	40	8	20	10	9
	一般推薦	45	18	9	28	5	10
	生産動物医療推薦					5	
	動物病院後継者育成推薦					2	
	農業高校および農業大学校推薦					2	
	学士等推薦					3	
	生産動物看護部門推薦						6
選一般	第1期学力入試	67	15	12	30		20
	第2期学力入試	10	5	2	5		5
第1期学力・共通テスト併用型入試 A日程						通常 65 理科重点 12	
第1期学力・共通テスト併用型入試 B日程					6		
第2期学力・共通テスト併用型入試						理科重点 6	
共通テスト利用入試（前期）		10	10	4	5	3教科5科目 5 5教科5科目 5	7
共通テスト利用入試（後期）		10	5	2	3		2
選特別	社会人	若干名					
	外国人	若干名					
編入学	2年次編入	若干名	若干名		若干名		
	3年次編入	若干名	若干名	若干名	若干名		
	3年次編入（学校推薦型選抜）	若干名	若干名		若干名		

※1 管理栄養士コースは「コース」での募集となります。

※2 指定校推薦の募集人員については、酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校からの内部進学推薦を含むほか、地域獣医療支援特別選抜（獣医学類）、アグリマイスター推薦（循環農学類および食と健康学類）による人数も含みます。

大学入学資格

（詳細は文部科学省のホームページで確認してください）

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ④ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ⑤ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされる者であること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程を修了する必要がある。）
- ⑦ 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者
- ⑧ 指定された専修学校の高等課程を修了した者
- ⑨ 旧制学校等を修了した者
- ⑩ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを保有する者
- ⑪ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
- ⑫ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格し、18歳に達した者（飛び級を除く）
- ⑬ 大学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者

※日本の国籍を有し、外国の高等学校等を卒業（見込み含む）した方は、出願登録前に入試広報センターにお問い合わせください。

推薦入学試験

総合型選抜、学校推薦型選抜、地域獣医療支援特別選抜

(1) 試験日程

試験名称	学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
産業振興 特別推薦	循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース	9月25日(月)～ 10月10日(火) (当日必着)	10月22日(日)	本学	11月1日(水)	11月13日(月) (当日必着)
環境共生貢献推薦	環境共生学類					
自己推薦(Ⅰ期)	循環農学類 食と健康学類 環境共生学類					
指定校推薦	獣医学類	11月 1日(水)～ 11月10日(金) (当日必着)	11月26日(日)	本学	12月8日(金)	12月21日(木) (当日必着)
	循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類 獣医保健看護学類		11月25日(土) 本学 11月26日(日) 東京・大阪			
アグリマイスター 推薦	循環農学類 食と健康学類					
日本学校農業クラブ 活動特別推薦	循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類 獣医保健看護学類		11月26日(日)	本学 東京 大阪		
一般推薦	全学類					
生産動物医療推薦	獣医学類		11月26日(日)	本学 東京 大阪		
動物病院後継者 育成推薦						
生産動物看護部門推薦	獣医学類		農業高校 11月26日(日)	本学		
農業高校および 農業大学校推薦			農業大学校 11月25日(土)			
			学士等推薦			
地域獣医療支援特別選抜		11月26日(日)				
自己推薦(Ⅱ期)	循環農学類 食と健康学類 環境共生学類	1月 5日(金)～ 1月15日(月) (当日必着)	2月4日(日)	本学	2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)
自己推薦(Ⅲ期) ※併願方式	循環農学類 食と健康学類 環境共生学類	2月26日(月)～ 3月13日(水) (当日必着)	3月18日(月)		3月21日(木)	3月27日(水) (当日必着)

(2) 試験の概要

総合型選抜

産業振興特別推薦

■ A推薦

《対象学類・コース》 循環農学類、食と健康学類、管理栄養士コース

高校の専門学科を卒業または卒業見込みの者

※農業・食品等、対象となる学科は、学類によって異なります。

■ B推薦

《対象学類・コース》 循環農学類、食と健康学類（管理栄養士コース除く）

以下の後継予定者

●農業後継者：親族や知人等が農業を経営し、将来経営を引き継ぐ意思がある者

●地域産業後継者：親族や知人等が事業（農業を除く）を経営し、将来経営を引き継ぐ意思がある者

※後継予定者確認書（本学所定用紙）が必要となります。

環境共生貢献推薦

《対象学類・コース》 環境共生学類

アドミッションポリシーを理解して第1志望とし、将来環境共生に貢献する意志があり、次のいずれか1つに該当する者

1. 本学が指定する技術を有する者（いずれか1つ以上）

生物分類技能検定3級、鳥獣管理士3級、2級ビオトープ計画管理士、2級ビオトープ施工管理士、公害防止管理者、気象予報士、森林情報士、修習技術者（技術士：環境部門）、英検準2級以上、アグリマイスター（シルバー以上）

2. NPO活動や地域活動を通じて環境保全の実践経験を有する者、またはクラブ（環境関連の活動に限る）において優秀な成績を残した者

3. 留学等により海外での経験を積んだ者

※NPO団体や自治体等が実施する環境保全活動として、外来種駆除活動、生物多様性調査活動、植林等緑化活動、資源循環活動、環境教育活動等があります。高校在籍時に、これらの環境保全活動に自ら複数日や複数回参加した場合を対象としています。その他の環境保全活動や既卒の場合等も含め、個別にお問い合わせください。

※資格の証明書の写しまたはNPO団体等の活動経験を証明できる資料が必要となります。

※アグリマイスター（ゴールド以上）資格での循環農学類、または食と健康学類への出願は、アグリマイスター推薦の欄（P10）をご確認ください。

自己推薦（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）

《対象学類・コース》 循環農学類、食と健康学類（管理栄養士コース除く）、環境共生学類

以下の1～3いずれか1つに該当する者

1. 本学への明確な入学目標があり、それを実践できる熱意・能力がある者

2. 生徒会長（副会長）、常設委員会の委員長（副委員長）、クラブにおいては主将（副主将）・部長（副部長）経験者

3. 都道府県レベルの各種大会出場者および顕著な活動歴（ボランティア活動等）のある者

学校推薦型選抜

指定校推薦

本学が指定した高等学校の学校長推薦による入学試験制度
 ※出願資格等の詳細は、指定校に直接通知します。

【面接試験における口頭試問の実施方法について】

指定校推薦(獣医学類を除く)、日本学校農業クラブ活動特別推薦、アグリマイスター推薦の面接試験では、口頭試問を行います。口頭試問は受験する学類の過去5年間の小論文課題(編入学試験の課題も含む)に関連する内容をキーワードとし、その内容(知識・技能)、問題(課題)は何か(思考力・判断力・表現力)、その解決策(個人・社会)をどう考えているか(主体性・多様性・協調性)を質問します。

※1)口頭試問は、面接試験における評価項目の一項目となります。

※2)過去5年間の小論文課題は本紙P13、31(本学受験生サイトにも掲載)に記載されております。

一般推薦

《対象学類・コース》

循環農学類、食と健康学類、管理栄養士コース、
 環境共生学類、獣医学類、獣医保健看護学類

公募制推薦制度(全学類)

伴侶動物獣医師・公務員獣医師・研究者等を志望する者(獣医学類のみ、1浪まで)

生産動物医療推薦

《対象学類・コース》

獣医学類

生産動物臨床獣医師を志望する者(1浪まで)

動物病院後継者育成推薦

《対象学類・コース》

獣医学類

2親等以内の親族が獣医師であり、その業を継承し、地域に貢献しようとする者(1浪まで)

※後継予定者確認書(本学所定用紙)、親族との関係がわかる公的な証明書(戸籍謄本など)、親族の獣医師免許証の写し、病院の開設証明の写しが必要となります。

農業高校および農業大学校推薦

《対象学類・コース》

獣医学類

(1浪まで)

生産動物医療に関わる獣医師を志望する者で次のいずれかに該当する者

●農業高校:高等学校の農業に関する学科を卒業および卒業見込みの者

●農業大学校:大学校の農業に関する学科を卒業および卒業見込みの者

学士等推薦

《対象学類・コース》

獣医学類

学士および短期大学士以上の学位、或いは、準学士の称号を有する者または見込みの者

地域獣医療支援特別選抜

各自治体等が実施する「獣医師養成確保修学資金貸与事業」の一環として、本学が「地域獣医療支援特別選抜」の二次試験として実施するものです。

《対象学類・コース》 獣医学類

産業動物獣医師または公務員獣医師の確保を目的とした修学資金貸与事業を制定している機関・団体等の長の推薦を受け、卒業後就業予定先で産業動物獣医師または公務員獣医師として従事することを確約できる者（1浪まで）
※本学への出願前に、上記の修学資金貸与事業を制定している機関・団体等での選考があります。

生産動物看護部門推薦

《対象学類・コース》 獣医保健看護学類

生産動物分野の動物看護師を志望する者（1浪まで）

アグリマイスター推薦

《対象学類・コース》 循環農学類、食と健康学類

アグリマイスターのプラチナ及びゴールド（高校2年生後期及び高校3年生前期）を取得した者
※アグリマイスター資格での環境共生学類への出願は、環境共生貢献推薦の欄（P8）をご確認ください。

日本学校農業クラブ活動特別推薦

《対象学類・コース》 循環農学類、食と健康学類、管理栄養士コース、環境共生学類、獣医保健看護学類

本学への明確な入学目標があり、日本学校農業クラブ活動において活躍した生徒を対象とした入学試験制度
※出願資格等の詳細は、対象となる高等学校に直接通知します。

(3) 出願資格

推薦入学試験は、自己推薦（Ⅲ期）を除きすべて専願が条件です。なお、指定校推薦、日本学校農業クラブ活動特別推薦および地域獣医療支援特別選抜以外の入試区分では、高校1校あたりの出願人数に制限はありません。
循環農学類・食と健康学類は第2志望として選択できます（指定校推薦および地域獣医療支援特別選抜を除く）。

- 【注意】**・第2志望で合格した場合も専願となります。
・出願書類提出後の志望学類またはコースの変更はできません。

入試区分	ポイント	循環農学類	食と健康学類	食と健康学類 管理栄養士 コース	環境共生学類	獣医学類	獣医保健 看護学類
産業振興特別推薦 (専門学科高校) A推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：★不要 高校の学科※1：●条件あり 浪人年数：★問わない	3.0以上 ★ 農業・水産 ★	3.0以上 ★ 食品・水産・農業・商業 ★	3.5以上 ★ 食品・栄養 ★	募集なし	募集なし	募集なし
	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：★不要 後継者の確認書：□必要 高校の学科：★問わない 浪人年数：★問わない	3.0以上 ★ 確認書 ★ ★	3.0以上 ★ 確認書 ★ ★	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
環境共生貢献推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：★不要 高校の学科：★問わない 浪人年数：★問わない 資格※2：□条件あり	募集なし	募集なし	募集なし	3.0以上 ★ ★ ★ ※2 参照	募集なし	募集なし
自己推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：★不要 高校の学科：★問わない 浪人年数：★問わない 目標と熱意など※3：□条件あり	2.7以上 ★ ★ ★ ※3 参照	2.7以上 ★ ★ ★ ※3 参照	募集なし	2.7以上 ★ ★ ★ ※3 参照	募集なし	募集なし
指定校 推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：★問わない	指定校推薦については別途高等学校へ直接通知します。					
マイスター 推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 アグリマイスター：□プラチナまたはゴールドの認定	3.0以上 推薦書 認定証(写し)	3.0以上 推薦書 認定証(写し)	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし
一般推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：★問わない 浪人年数：★問わない □条件あり	3.0以上 推薦書 ★ ★	3.0以上 推薦書 ★ ★	3.5以上 推薦書 ★ ★	3.0以上 推薦書 ★ ★	3.5以上 推薦書 ★ 1浪まで	3.0以上 推薦書 ★ ★
生産動物 医療推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：★問わない 浪人年数：□条件あり	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	3.5以上 推薦書 ★ 1浪まで	募集なし
後継者育成 動物病院 推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書+後継者の確認書：□必要 高校の学科：★問わない 浪人年数：□条件あり					3.5以上 推薦書+確認書 ★ 1浪まで	
農業高校および 農業大学校推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：●条件あり 浪人年数：□条件あり					※4 参照 推薦書 農業 1浪まで	
学士等 推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：★該当なし 浪人年数：★該当なし	募集なし	募集なし	募集なし	募集なし	※5 参照 ※6 参照 ★ ★	募集なし
生産動物 看護部門 推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：★問わない 浪人年数：□条件あり					3.0以上 推薦書 ★ 1浪まで	
日本学校農業 クラブ活動 特別推薦	全体の学習成績の状況：●条件あり 学校長の推薦書：□必要 高校の学科：●条件あり 浪人年数：□条件あり	日本学校農業クラブ活動特別推薦については別途高等学校へ直接通知します。 なお、獣医学類の募集はありません。					

- ※1 高校の課程で、「総合学科」の場合は、履習した科目に一定の専門の学科内容が含まれている必要があります。
- ※2 環境共生貢献推薦の出願条件は、下記の3つのうち、いずれか1つに該当する者。
1. 本学が指定する技術を有する者(いずれか1つ以上)
生物分類技能検定3級、鳥獣管理士3級、2級ビオトープ計画管理士、2級ビオトープ施工管理士、公害防止管理者、気象予報士、森林情報士、修習技術者(技術士:環境部門)、英検準2級以上、アグリマイスター(シルバー以上)
 2. NPO活動や地域活動を通じて環境保全の実践経験を有する者、またはクラブ(環境関連の活動に限る)において優秀な成績を残した者
 3. 留学等により海外での経験を積んだ者
- 1に該当する者は証明書の写し、2または3に該当する者は経験を証明できる資料の添付が必要となります。**
- ※3 自己推薦の条件は、下記の3つのうち、いずれか1つに該当する者。
1. 本学への明確な入学目標があり、それを実践できる熱意・能力がある者
 2. 生徒会長(副会長)、常設委員会の委員長(副委員長)、クラブにおいては主将(副主将)・部長(副部長)の経験者
 3. 都道府県レベルの各種大会出場者および顕著な活動歴(ボランティア活動等)のある者
- ※4 農業高校: **4.0以上** ただし、主要5教科の平均は **4.5以上**
 大学校:(4段階評価校)GPAに換算して **3.0以上**、(3段階評価校)GPAに換算して **2.4以上**
- ※5 (4段階評価校)GPAに換算して **2.5以上**、(3段階評価校)GPAに換算して **2.0以上**
- ※6 学士および短期大学士以上の学位あるいは準学士の称号を有する方の出願の際は、大学長または学部長等、短期大学長または学科長等、高等専門学校長の推薦書が必要となります。

外国の高等学校等を卒業した方

日本国籍を有し、外国の高等学校等(以下高校)を卒業見込みまたは卒業した者は、下記の条件をすべて満たすこと

- 1) 高校の教育課程が日本のそれと同等と認められること(P6参照)
- 2) 学業成績書の評価が5段階評価に変換可能で、かつ全体の学習成績の状況が各学類およびコースの推薦入試の基準値以上であること
- 3) 高校からの推薦書が提出できること(英文可。ただし、日本語訳を添付してください。) ※総合型選抜を除く
上記の基準を満たす方は10月13日(金)までに入試広報センターに連絡して、必ず出願前に確認してください。

(4) 選抜方法

P16～19をご確認ください。

(5) 試験時間

入試区分	集合時間	小論文	面接
産業振興特別推薦 環境共生貢献推薦 自己推薦 指定校推薦(獣医学類のみ) 地域獣医療支援特別選抜 一般推薦 生産動物医療推薦 動物病院後継者育成推薦 農業高校推薦 生産動物看護部門推薦	9時30分	10時00分～11時00分	11時30分～
指定校推薦(地方会場) アグリマイスター推薦(地方会場) 日本学校農業クラブ活動特別推薦(地方会場)	9時30分		10時00分～
指定校推薦(本学会場) アグリマイスター推薦(本学会場) 日本学校農業クラブ活動特別推薦(本学会場)	9時00分		9時30分～
農業大学校推薦 学士等推薦	9時00分	9時30分～11時00分	11時30分～

2月4日(日)の自己推薦(Ⅱ期)を受験する方は、専願となりますので第1期学力入試、第1期学力・共通テスト併用型入試および共通テスト利用入試(前期)を受験することはできません。

(6) 過去5年間の小論文課題一覧

・過去問題は受験生サイトにも掲載しております。



年度	循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類	獣医保健看護学類	獣医学類
2020年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業における鳥獣被害の現状と対策について考えを述べなさい(自己推薦I期、産業振興特別推薦) SDGsと農業生産との関わりについてあなたの考えを述べなさい(自己推薦II期) 近年の農業・食料問題の事例を一つ挙げ、その解決策について考えを述べなさい(自己推薦III期) 農業の人手不足を解消する方策について考えを述べなさい(学校推薦型選抜) <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> いわゆる“食品ロス”の削減について生産者及び販売者が貢献できることを述べなさい(自己推薦I期、産業振興特別推薦) 食生活における問題とそれを解決する手段として大学で何を学びたいか述べなさい(学校推薦型選抜) <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 耕作放牧地が増加している理由及びこのことが地域の自然環境に与える影響について述べなさい(自己推薦I期、環境共生貢献推薦) 地球温暖化は自然界の生物相互の『食う—食われるの関係』にどのような影響を及ぼすか、述べなさい(自己推薦II期) 野生動物の市街地への出没情報等を市民が共有することで期待される効果について述べなさい(学校推薦型選抜) 	<ul style="list-style-type: none"> 愛玩動物看護師国家資格取得者のみが果たしうる社会的機能について述べなさい/本学で学べるどの要素が卒業後あなたの強みとして活かせるか考えるか述べなさい(P15参照) 産業動物分野の課題について、以下のキーワードから一つもしくは二つ選び述べなさい(キーワード:環境、福祉、経済)/本学で学べるどの要素が卒業後あなたの強みとして活かせるか考えるか述べなさい(生産動物看護部門)(P15参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 伴侶動物医療と生産動物医療に関わる獣医師の使命について、その差異と共通点を、日本語で説明しなさい/ロボットペットが人と動物の絆に及ぼす社会的意義に関する設問(P14参照) 日本の獣医学教育体制を世界に適応できる国際的な教育基準へと発展させるためにどのような準備が必要であるか?理由も含めて説明しなさい/畜産由来物を微生物タンパク質へ置き換えることの環境的利益に関する設問(学士・農業大学校)(P15参照)
2019年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> スマート農業の利点を整理し、その活用方法について述べなさい 持続可能な農業を行うために必要なリスク対策について述べなさい(自己推薦後期) <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減について述べなさい インターネットを用いた食品の購入の現状と課題について述べなさい(自己推薦後期) レジ袋の有料化及び義務化に関して私たちが出来ることについて述べなさい(自己推薦特別枠) <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街地に出没する野生動物(アーバン・ワイルドライフ)の人的被害に対する解決策を述べなさい SDGsの目標15(陸の豊かさを守ろう)と関連し、陸域生態系の保護・回復のための具体策を述べなさい(自己推薦後期) 	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護師と人の看護師を比較しなさい/愛玩動物看護師法が制定され、業務範囲としてA「愛玩動物看護師のみが実施可能」な業務とB「愛玩動物看護師以外も実施可能」な業務にわけられた。業務AとBについてその具体例と意義を1つずつ述べなさい 伴侶動物の動物看護師と生産動物の動物看護師を比較しなさい/1965年にプランベル委員会が提唱した元来生産動物のために提案された「5つの自由」について説明しなさい(生産動物看護部門) 	<ul style="list-style-type: none"> 大学で獣医学を学ぶにあたって入学前にどのような準備が必要であるか?/伴侶動物を失った場合における、家庭内における他の動物の行動に関する設問 食品衛生と動物衛生に関わる獣医師の使命について、その差異と共通点を説明しなさい/家畜に寄生する節足動物の種類と影響および防除に関する設問(学士・農業大学校)
2017年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の農業の問題点を整理し、解決する方法について 若い世代を農業に参入させるにはどのような社会的仕組みが必要か述べなさい(自己推薦後期) 北海道の農業における課題と対策について述べなさい(自己推薦後期) <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス決済の現状と課題について 少子高齢化にともなう食生活の変化とニーズを考え、私たちができることを述べなさい(自己推薦後期) <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野生動物による農作物被害などを減らすための対策について レジ袋有料化は海洋プラスチック問題の解決策として必要かつ十分といえるか述べなさい(自己推薦後期) 	<ul style="list-style-type: none"> 国家資格化により動物看護師の社会的存在がどのように変わると考えられるか/アドミッションポリシーの中で、あなたの志望動機と特に合致している部分について 愛玩動物看護師法に生産動物医療に関連する業務が含まれていないことについて/アドミッションポリシーの中で、あなたの志望動機と特に合致していることについて(生産動物看護部門) 	<ul style="list-style-type: none"> あなたが考える獣医師の社会的役割について/獣医療におけるトリアージに関する設問 災害発生時に被災した動物に対し獣医師としてどのような活動ができるか/動物の個体数が増加することによる人や環境への影響に関する設問(学士・農業大学校)
2020年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本農業の課題と対策について 持続可能な農業について(自己推薦後期) <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> Ready to Eat(調理せず、すぐに食べられる)食品の利便性と問題点について <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスチック等の廃棄物による環境問題について 世界的な森林減少を止めるためにすべきことは何か(自己推薦後期) 	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護師になるために、大学において学ぶことの利点について/飼育される動物との共生について飼い主様にアドバイスできる点 動物看護師として生産動物医療に関わる利点について/生産動物医療に携わる動物看護師としての業務の特徴(生産動物医療部門) 	<ul style="list-style-type: none"> 医師と比較しながら獣医師の仕事について/ストレスと福祉に関する設問 口蹄疫や豚コレラのような疫病発生時における獣医師の役割について/ペットロスの扱いに関する設問(学士・農業大学校)
2016年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> あなたの考える循環型農業について 持続可能な農業を進める上で何が大切か(自己推薦後期) <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品を保存するための手段について 食品を安心して食べるための条件について(自己推薦後期) <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー問題と自然環境の関係について 環境問題とその解決方法について(自己推薦後期) 	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護師がどのような役割を担うことで理想的な治療や看護を動物や飼い主に提供できると考えるか/将来就きたいと考えている、あるいは興味のある職業について ウシやブタ、ニワトリといった生産動物の分野において、あなたが理想とする動物看護師の役割について/災害に陥った場合家畜に対してどういった対応が可能か(生産動物医療部門) 	<ul style="list-style-type: none"> 安定した食料供給という観点から、獣医師としてどの様に対応していきたいと考えるか/野生のキノコによる食中毒に関する設問 都道府県に勤務する獣医師の役割について/家畜の視覚に関する設問(学士・農業大学校)

問1. 伴侶動物医療と生産動物医療に関わる獣医師の使命について、その差異と共通点を600字以内、日本語で説明しなさい。

問2. 以下の英文を200字以内で、日本語に要約しなさい。

Robotic “pets” are being marketed as social companions and are used in the emerging field of robot-assisted activities, including robot-assisted therapy (RAA). However, the limits to and potential of robotic analogues of living animals as social and therapeutic partners remain unclear. Do children and adults view robotic pets as “animal-like,” “machine-like,” or some combination of both? How do social behaviors differ toward a robotic versus living dog? To address these issues, we synthesized data from three studies of the robotic dog *AIBO*: (1) a content analysis of 6,438 Internet postings by 182 adult *AIBO* owners; (2) observations and interviews with 80 preschoolers during play periods with *AIBO* and with a stuffed dog; and (3) observations and interviews with 72 children, aged 7-15 years, who played with *AIBO* and a living dog. Overall, the studies revealed that “hybrid” cognitions and behaviors about *AIBO* emerged: the robotic dog was treated as a technological artifact that also embodied attributes of living animals, such as having mental states, being a social other, and having moral standing (although this latter finding remained difficult to interpret). Implications for use of robotic pets as companions and in interventions or therapy are explored.

出典：Journal of Social Issues, Volume 65(3); 545-567, 2009.

Robotic Pets in Human Lives: Implications for the Human-Animal Bond and for Human Relationships with Personified Technologies

companion；仲間、伴侶
 emerging field；新興分野
 synthesized；合成、統合
 moral standing；道徳的地位
 implications for；の意味
 interpret；解釈

■2023年度 獣医学類(学士・農業大学校) 小論文課題

問1. 日本の獣医学教育体制を世界に適応できる国際的な教育基準へと発展させるためにどのような準備が必要であるか?理由も含めて600字以内で説明しなさい。

問2. 以下の英文を読んで、200字以内で日本語に要約しなさい。

Ruminant meat provides valuable protein to humans, but livestock production has many negative environmental impacts, especially in terms of deforestation, greenhouse gas emissions, water use and eutrophication. In addition to a dietary shift towards plant-based diets, imitation products, including plant-based meat, cultured meat and fermentation-derived microbial protein (MP), have been proposed as means to reduce the externalities of livestock production. Life cycle assessment (LCA) studies have estimated substantial environmental benefits of MP, produced in bioreactors using sugar as feedstock, especially compared to ruminant meat. Here we present an analysis of MP as substitute for ruminant meat in forward-looking global land-use scenarios towards 2050. Our study complements LCA studies by estimating the environmental benefits of MP within a future socio-economic pathway. Our model projections show that substituting 20% of per-capita ruminant meat consumption with MP globally by 2050 (on a protein basis) offsets future increases in global pasture area, cutting annual deforestation and related CO₂ emissions roughly in half, while also lowering methane emissions. However, further upscaling of MP, under the assumption of given consumer acceptance, results in a non-linear saturation effect on reduced deforestation and related CO₂ emissions—an effect that cannot be captured with the method of static LCA.

出典: Florian H. et al., *Nature* **605**, pages 90-96 (2022)

Florian Humpenöder, Benjamin Leon Bodirsky, Isabelle Weindl, Hermann Lotze-Campen, Tomas Linder & Alexander Popp, Projected environmental benefits of replacing beef with microbial protein, *Nature* 605, 90-96(2022), Springer Nature

■2023年度 獣医保健看護学類 小論文課題

問1. 愛玩動物看護師国家資格取得者のみが果たしうる社会的機能について400字以内で述べなさい。

問2. 本学で学べるどの要素が卒業後あなたの強みとして活かせるか400字以内で述べなさい。

■2023年度 獣医保健看護学類(生産動物看護部門) 小論文課題

問1. 産業動物分野の課題について、以下のキーワードから一つもしくは二つ選び400字以内で述べなさい。

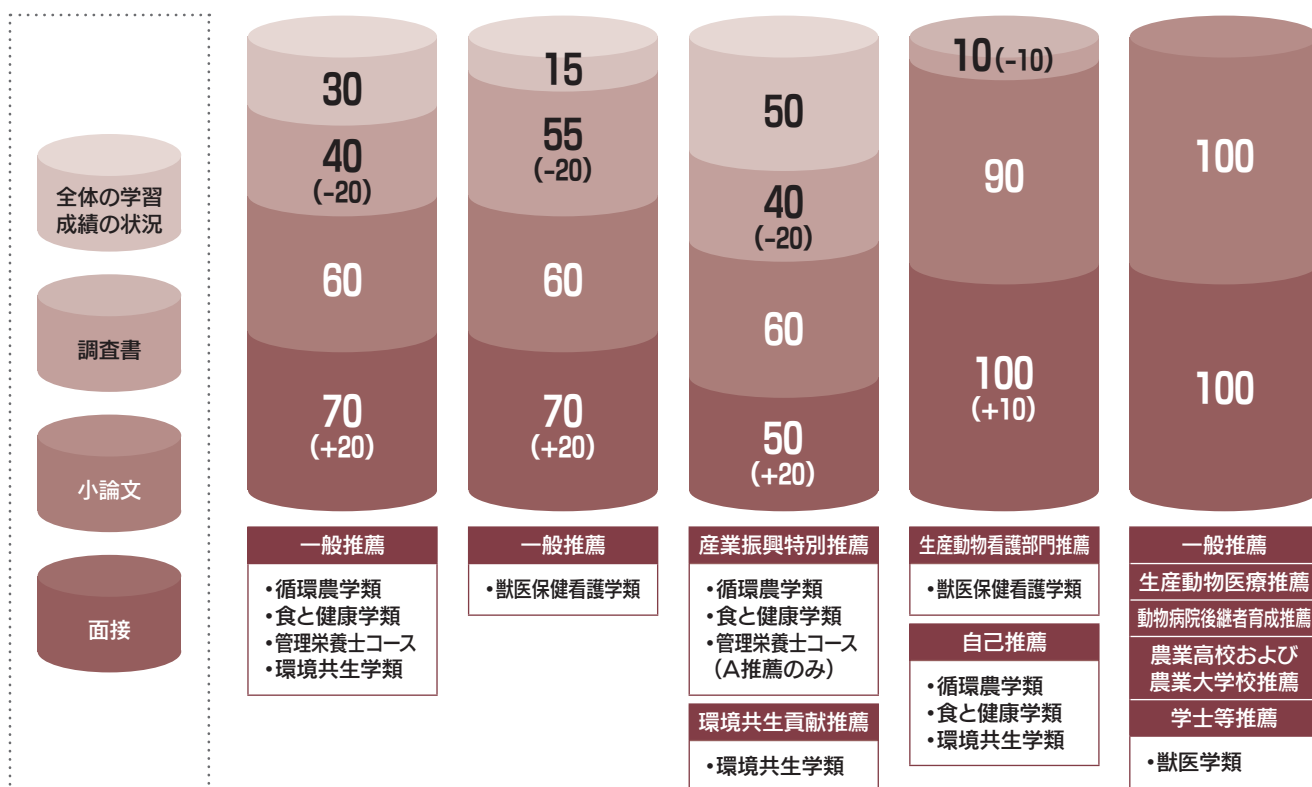
キーワード: 環境、福祉、経済

問2. 本学で学べるどの要素が卒業後あなたの強みとして活かせるか400字以内で述べなさい。

(7) 各試験の配点について

1. 選抜項目・配点

※新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、2021年度入試より、従来の配点から調査書点の比率を低くし(-20点/-10点)、面接点の比率を高く(+20点/+10点)しています。



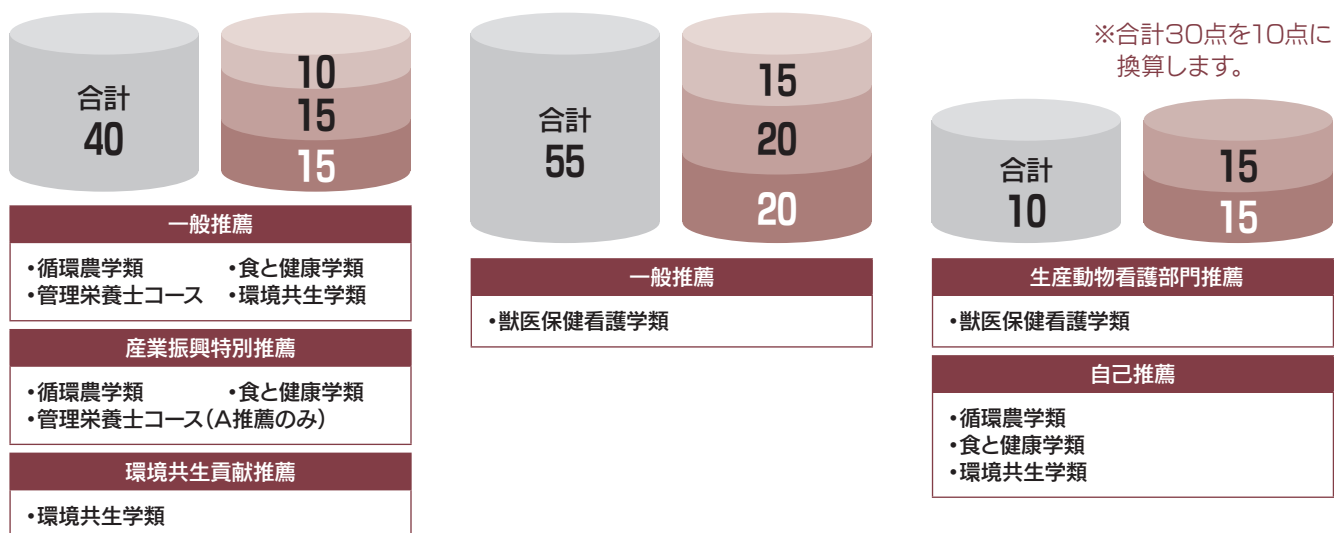
2. 調査書の点数化 (獣医学類を除く)

調査書における点数化する項目

- ①出席状況 ※生産動物看護部門推薦、自己推薦では配点なし。
- ②自己研鑽に関する記録 ①部活動の状況 ②資格・検定 ③留学実績
- ③社会貢献に関する記録 ①生徒会・常設委員会・クラス委員長・自治会(町内会)役員としての活動状況 ②ボランティア活動

上記の評価項目は、**高等学校在学中の活動に限り、評価対象**とします。

ただし、**高等学校卒業程度認定試験合格者**については、**高等学校卒業程度認定試験に合格した年度を含む直近3年間の活動**を評価対象とします。



調査書の点数化

本学では以下の基準に基づいて調査書の点数化を行います。

①出席状況

10点

一般推薦
(循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類)
産業振興特別推薦 (A 推薦・B 推薦)
環境共生貢献推薦

15点

一般推薦
(獣医保健看護学類)

※生産動物看護部門推薦、自己推薦では配点なし。

欠席日数	0~3日	4~6日	7~9日	10~15日	16日以上
配点 (10点)	10	8	6	4	2
配点 (15点)	15	12	9	6	3

学級閉鎖、公認欠席、特別欠席、授業、部活動、学校行事の事故による欠席を除く。

②-1 自己研鑽に関する記録 (部活動の状況)

上限5点

学年1回につき

対象項目	クラブ部長(副)	クラブ(部)員	全国大会出場	都道府県大会出場
配点 (5点)	3	2	5	3

- ・農業クラブの意見発表会等は大会出場に準ずる。
- ・複数の部活に加入している場合はダブルカウント可能。
- ・学校の部活動に限らず、校外のクラブチーム等での活動も含める。
- ・全国および都道府県大会は支部予選等を勝ち抜いたものに限る。
- ・関東大会や近畿大会等、都道府県大会より上位のブロック大会は都道府県大会出場と同様に扱う。
- ・各学年で半年以上所属し、かつ、3年間のうち1年以上継続したものに限る。ただし、3年次で活動終了(引退)までの期間が半年未満となる場合は、活動終了(引退)まで所属した場合に限り半年以上とみなす。
例1) 1年次の10月1日に入部し、3年次の引退(8月)まで部員として活動 → 2点×3(1・2・3年) = 6点
例2) 1年次の11月に入部し、3年次の引退前7月に退部した部員の場合 → 2点×1(2年) = 2点

②-2 自己研鑽に関する記録 (資格・検定)

上限5点

高等学校在学中に取得した各種試験・検定による段級の記録について、1件につき2点

- ・同一資格のレベルアップも2点を加点する。
 - ・資格の段級は問わない。
 - ・“級”が明記される「英検」を除き「英語資格・検定試験(認定試験)」については、CEFRのレベルA1以上に対し、2点を加点する。
- ※認定試験の結果は、高校2年次以降、受験する年度までに取得した直近2年以内のものを対象とする。

②-3 自己研鑽に関する記録(留学実績)

上限 5 点

一般推薦
(循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類)
産業振興特別推薦 (A 推薦・B 推薦)
環境共生貢献推薦
生産動物看護部門推薦
自己推薦

上限 10 点

一般推薦
(獣医保健看護学類)

高等学校在学中の留学期間

項目	12ヵ月を超えるもの	9ヵ月以上	6ヵ月以上	2ヵ月以上	2週間以上
配点 (5点)	5	4	3	2	1
配点 (10点)	10	8	6	4	2

・親の転勤に伴う帰国子女の海外高校就学は対象外とする。

③-1 社会貢献に関する記録(生徒会等)

上限 10 点

1期または1年につき

対象項目	・生徒会長(副) ・自治会(町内会)役員	・常設委員会委員長(副) ・生徒会役員	・常設委員会委員 ・クラス委員長
配点 (10点)	5	4	2

- ・農業クラブは常設委員会とする。
- ・学級、クラス内の委員および係は除く。
- ・任期が半期以上のものに限る。
- ・生徒会および自治会(町内会)活動に関しては、それぞれ任期が定まっているため、1期ごとに加点する。ただし、任期が2年を超える場合は1年ごとに上記の点数を加点する。

③-2 社会貢献に関する記録(ボランティア活動)

上限 5 点

一般推薦
(循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類)
産業振興特別推薦 (A 推薦・B 推薦)
環境共生貢献推薦
生産動物看護部門推薦
自己推薦

上限 10 点

一般推薦
(獣医保健看護学類)

高等学校在学中に行ったボランティア活動

対象項目	・10日(回)以上 ・防犯、消防、救急活動で表彰を受けたもの	5日(回)以上	2日(回)以上
配点 (5点・10点)	5	3	2

- ※同一のボランティア活動は通算できる。
- ・校内、外を問わない。
 - ・学校行事として行うボランティア活動は除く。ただし、参加者を募集し、生徒が自主的に参加するものは対象とする。
 - ・住居地域の清掃活動や美化活動は除く。

調査書の点数(例)

循環農学類 一般推薦入試志望 Aさんの調査書点は何点?

Aさんはこんな高校生	
①	3年間の欠席日数は3日
②	3年間吹奏楽部に所属 1年次に県大会出場 3年次に副部長
③	1年次に漢字検定3級取得 3年次に漢字検定2級取得
④	1年次に3週間の留学
⑤	1・2年次は保健委員 3年次はHR委員長
⑥	校内に掲示されていた災害ボランティアの募集案内に応募し、夏休み5日間参加。 福祉施設のボランティアスタッフ(年に2回)として、高校3年間活動

出欠状況

10/10点満点

①: 0~3日間 = 10点

自己研鑽に関する記録

10/15点満点

②: 部員を2年 × 2点 = 4点
 都道府県大会出場 × 3点 = 3点
 副部長を1年 × 3点 = 3点
 ③: 資格1つ × 2点 = 2点
 資格レベルアップ × 2点 = 2点
 ④: 留学2週間以上 × 1点 = 1点

} 上限5点

社会貢献に関する記録

11/15点満点

⑤: 委員を2年 × 2点 = 4点
 HR委員長を1年 × 2点 = 2点
 ⑥: ボランティア参加
 5日以上2種類 × 3点 = 6点 (上限5点)

Aさんの調査書点 **31点** / 40点満点

3.小論文・面接試験

小論文試験(抜粋)

過去問題はP13~P15を参照してください。

面接試験

【循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類】

【形式】 個人面接

【時間】 5~10分程度(自己推薦は10分程度) ※目安

【評価】 志望動機・目標設定・勉学への意欲・言動・態度等

口頭試問(指定校推薦・日本学校農業クラブ活動特別推薦・アグリマイスター推薦)

【獣医学類・獣医保健看護学類】

【形式】 個人面接

【時間】 10分程度 ※目安

【評価】 志望動機・目標設定・勉学への意欲・言動・態度等

口頭試問(指定校推薦(獣医保健看護学類))

学力入学試験

一般選抜

(1) 試験日程

■第1期学力入学試験：(1学類(コース)のみ出願できます。2つ以上の学類(コース)の併願はできません。)

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類 獣医保健看護学類	1月 5日(金)～ 1月15日(月) (当日必着)	2月5日(月)	本学 仙台 東京 名古屋 大阪 福岡	2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)

■第2期学力入学試験：(1学類(コース)のみ出願できます。2つ以上の学類(コース)の併願はできません。)

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類 獣医保健看護学類	2月 2日(金)～ 2月19日(月) (当日必着)	3月3日(日)	本学 東京 大阪	3月8日(金)	3月15日(金) (当日必着)

※循環農学類・食と健康学類のみ第2志望として選択できます。

注意・出願書類提出後の志望学類またはコースの変更はできません。

(2) 選抜方法

学力試験の成績により選抜します。

(3) 試験時間

■学力入学試験(第1期および第2期)時間割

学類・コース	集合時間	1時間目	2時間目
		10:00～11:00	11:40～12:40
循環農学類・食と健康学類・環境共生学類	9時30分	数学・理科・社会(公民)	外国語・国語
管理栄養士コース		数学・理科	
獣医保健看護学類			

第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験、第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験

(1) 試験日程

■第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 A日程(通常・理科重点)

学類	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
獣医学類	1月 5日(金)～ 1月15日(月) (当日必着)	2月4日(日)	本学 仙台 東京 名古屋 大阪 福岡	2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)

■第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 B日程

学類	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
環境共生学類	1月5日(金)～ 1月15日(月) (当日必着)	2月5日(月)	本学 仙台 東京 大阪 名古屋 福岡	2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)

■第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 理科重点

学類	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
獣医学類	2月2日(金)～ 2月19日(月) (当日必着)	3月3日(日)	本学 東京 大阪	3月8日(金)	3月15日(金) (当日必着)

(2) 選抜方法

学力入学試験の成績(獣医学類は較正点に変換)と令和6年度大学入学共通テストの成績により選抜します。

(3) 試験時間

■第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 A・B日程 時間割

学類	集合時間	試験時間
環境共生学類	11時10分	11:40～12:40 外国語・国語
獣医学類	13時00分	13:30～14:30 理科

■第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 理科重点 時間割

学類	集合時間	試験時間
獣医学類	9時30分	10:00～11:00 理科

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しています。一般入試の入学試験問題について、本学が必要と認める範囲内において、「宣言参加大学(本学含む)」及び「提供大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし必ず使用するとは限りません。

大学入学共通テスト利用入学試験

(1) 試験日程

■大学入学共通テスト利用入学試験(前期)

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
全学類・コース	1月5日(金)～ 1月19日(金) (当日必着)	本学独自の試験は課しません。 ※1/13(土)・1/14(日)の大学入学共通テストで、 本学が指定する教科・科目を受験すること		2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)

■大学入学共通テスト利用入学試験(後期)

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類 獣医保健看護学類	2月2日(金)～ 2月19日(月) (当日必着)	本学独自の試験は課しません。 ※1/13(土)・1/14(日)の大学入学共通テストで、 本学が指定する教科・科目を受験すること		3月8日(金)	3月15日(金) (当日必着)

(2) 出願資格

令和6年度大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験した者

(3) 選抜方法

令和6年度大学入学共通テストの成績により選抜します。

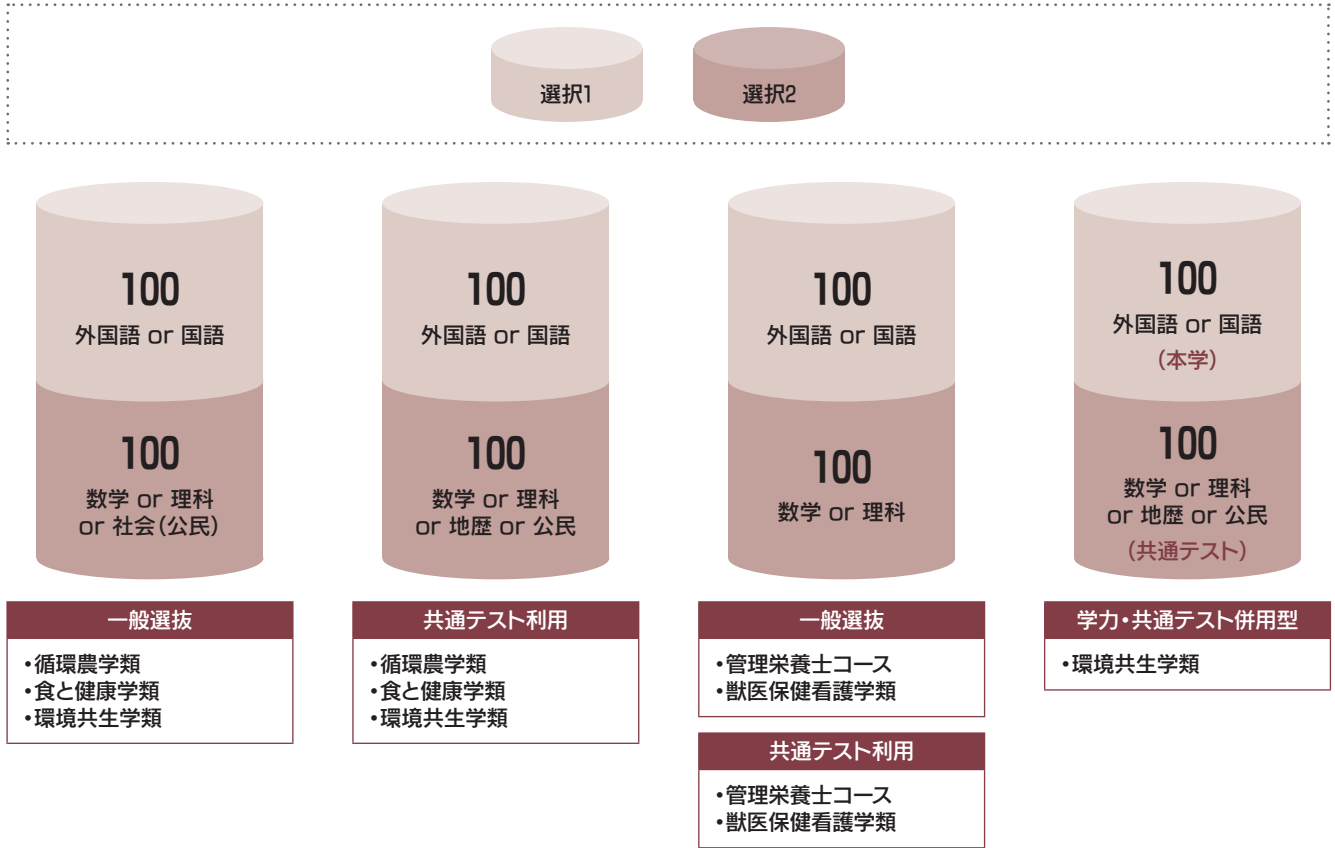
※本学独自の個別試験は課しません。

各試験の配点について

(1) 選抜項目・配点

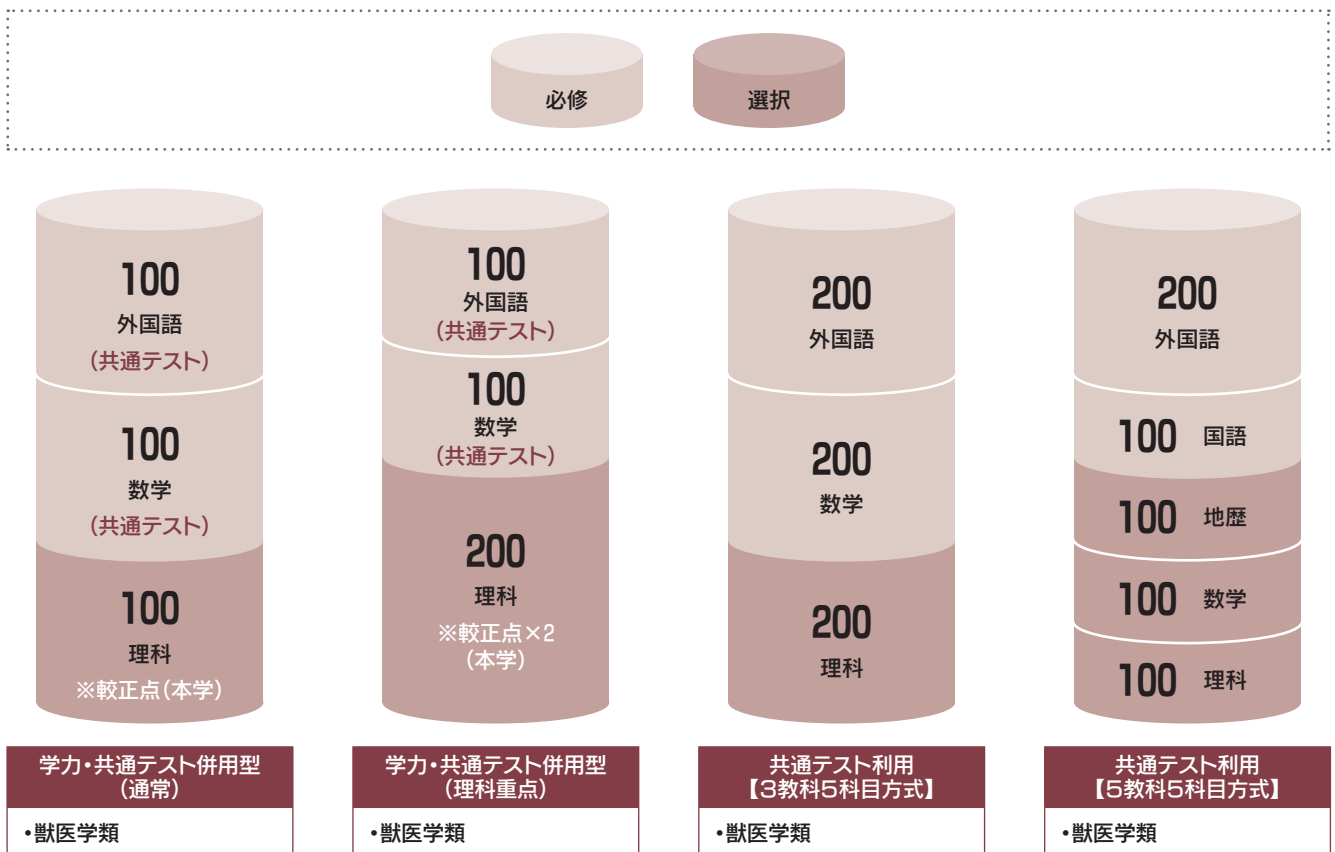
■ 循環農学類、食と健康学類、管理栄養士コース、環境共生学類、獣医保健看護学類

※調査書の点数化は行いません。



■ 獣医学類

※調査書の点数化は行いません。



(2) 入試種別と試験科目

1) 一般選抜 試験科目

①循環農学類・食と健康学類・環境共生学類

2教科2科目受験(合計200点満点・各60分試験)

選択1(1科目選択/100点)	「英語」	「国語総合」(近代以降の文章)
選択2(1科目選択/100点)	「数学Ⅰ・数学A」	「化学基礎・化学」
	「生物基礎・生物」	「政治・経済」

※英語は、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ、ただしリスニングは除く。

②管理栄養士コース、獣医保健看護学類

2教科2科目受験(合計200点満点・各60分試験)

選択1(1科目選択/100点)	「英語」	「国語総合」(近代以降の文章)
選択2(1科目選択/100点)	「数学Ⅰ・数学A」	「化学基礎・化学」
	「生物基礎・生物」	

※英語は、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ、ただしリスニングは除く。

2) 学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験 試験科目

①獣医学類 第1期A日程/通常

3教科4科目受験(合計300点満点)

注意:「令和6年度大学入学共通テスト」を受験する必要があります!

必修(100点) 共通テスト	「英語」(リスニングを含む)	
必修(100点) 共通テスト	「数学Ⅰ・数学A」および「数学Ⅱ・数学B」	
選択(1科目選択/100点) 本学独自の学力試験	「化学基礎・化学」	「生物基礎・生物」

※較正点に変換して選択します

大学入学共通テストにおける英語の配点は、リーディング100点、リスニング100点となり、1:1の配点比率となりますが、本学においては、以下のとおり4:1とします。

※リーディング4(80点): リスニング1(20点)



3教科4科目受験(合計400点満点)

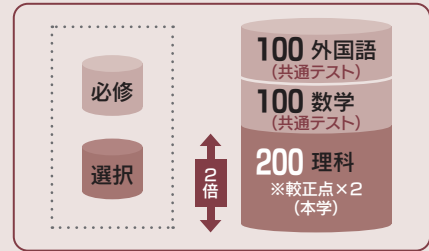
注意:「令和6年度大学入学共通テスト」を受験する必要があります!

必修(100点) 共通テスト	「英語」(リスニングを含む)	
必修(100点) 共通テスト	「数学Ⅰ・数学A」および「数学Ⅱ・数学B」	
選択(1科目選択/200点) 本学独自の学力試験	「化学基礎・化学」	「生物基礎・生物」

※較正点に変換して選抜します

大学入学共通テストにおける英語の配点は、リーディング100点、リスニング100点となり、1:1の配点比率となりますが、本学においては、以下のとおり4:1とします。

※リーディング4(80点):リスニング1(20点)



③環境共生学類

2教科2科目受験(合計200点満点)

注意:「令和6年度大学入学共通テスト」を受験する必要があります!

選択1(1科目選択/100点) 本学独自の学力試験	「英語」	「国語総合」(近代以降の文章)		
選択2 (1または2科目/100点) 共通テスト	「数学Ⅰ・数学A」	「物理」	「化学」	「生物」
	「地学」	「地理B」	「政治・経済」	から1科目選択
	または 「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「地学基礎」 から2科目選択

※英語は、コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ、ただしリスニングは除く。

3) 大学入学共通テスト利用入学試験 試験科目

①循環農学類・食と健康学類・環境共生学類

2教科2科目受験(合計200点満点)

選択1(1科目選択/100点)	「英語」(リスニングを除く)		「国語」(近代以降の文章)		
選択2 (1または2科目選択/100点)	「数学Ⅰ」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ」	「数学Ⅱ・数学B」	
	「物理」	「化学」	「生物」	「地学」	「世界史A」「世界史B」
	「日本史A」	「日本史B」	「地理A」	「地理B」	「現代社会」
	「倫理」	「政治・経済」	「倫理、政治・経済」 から1科目選択		
	または				
	「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「地学基礎」	から2科目選択

※各選択区分内で、複数科目受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

②管理栄養士コース、獣医保健看護学類

2教科2科目受験(合計200点満点)				
選択1(1科目選択/100点)	「英語」(リスニングを除く)		「国語」(近代以降の文章)	
選択2 (1または2科目選択/100点)	「数学Ⅰ」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ」	「数学Ⅱ・数学B」
	「物理」	「化学」	「生物」	「地学」 から1科目選択
	または			
	「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「地学基礎」 から2科目選択

※各選択区分内で、複数科目受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

③獣医学類

①3教科5科目方式 5科目受験(合計600点満点)				
必修(200点)	「英語」(リスニングを含む)			
必修(200点)	「数学Ⅰ・数学A」		「数学Ⅱ・数学B」	
選択(2科目選択/200点)	「物理」	「化学」	「生物」	から2科目選択

※各選択区分内で、複数科目受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

②5教科5科目方式 5科目受験(合計600点満点)				
必修(英語200点/国語100点)	「英語」(リスニングを含む)		「国語」(近代以降の文章)	
選択 (3または4科目選択/300点)	「世界史A」	「世界史B」	「日本史A」	「日本史B」
	「地理A」	「地理B」	から1科目選択	
	「数学Ⅰ」	「数学Ⅰ・数学A」	「数学Ⅱ」	「数学Ⅱ・数学B」 から1科目選択
	「物理」	「化学」	「生物」	「地学」 から1科目選択
	または			
	「物理基礎」	「化学基礎」	「生物基礎」	「地学基礎」 から2科目選択

※各選択区分内で、複数科目受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用する。

なお、大学入学共通テストにおける英語の配点は、3教科5科目方式および5教科5科目方式共に、リーディング100点、リスニング100点となり、1:1の配点比率となりますが、本学においては、以下のとおり4:1とします。

※リーディング4(160点):リスニング1(40点)

特別選抜試験

社会人特別選抜試験・外国人留学生入学試験

■社会人特別選抜試験

(1) 試験日程

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
全学類・コース	11月 1日(水)～ 11月10日(金) (当日必着)	11月26日(日)	本学	12月8日(金)	12月21日(木) (当日必着)

(2) 出願資格

出願時において、社会人として3年以上の実務経験(臨時職員としての職歴を含む)を有し、他の高等教育機関に在籍していない者で、次のいずれか1つに該当する者。ただし、獣医学類については4年制大学卒業者および大学在籍歴がある者を除く(短期大学卒業者は可)。

※獣医学類志望者について、4年制大学卒業者は学士等推薦を受験できます。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。)
- ④ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。)
- ⑤ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされる者であること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程を修了する必要がある。)
- ⑦ 高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了した者
- ⑧ 指定された専修学校の高等課程を修了した者
- ⑨ 旧制学校等を修了した者
- ⑩ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを保有する者
- ⑪ 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
- ⑫ 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格し、18歳に達した者(飛び級を除く)
- ⑬ 大学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者

※日本の国籍を有し、外国の高等学校等を卒業(見込み含む)した方は、出願登録前に入試広報センターにお問い合わせください。

【主な提出書類】入学志願票、履歴書、志望理由書、出願資格証明書、成績証明書、卒業証明書

管理栄養士コースは「コース」での募集となります。

(3) 選抜方法

選抜項目	点数	ワンポイント
小論文	100	60分、テーマの把握、論旨の展開、論証・文章量・誤字脱字・まとめ
面接	100	5～10分程度、志望動機・目標設定・勉強への意欲・言動・態度等
合計	200	

(4) 過去5年間の小論文課題

年度	小論文課題
2023年度	一般推薦の小論文課題参照
2022年度	一般推薦の小論文課題参照
2021年度	一般推薦の小論文課題参照
2020年度	一般推薦の小論文課題参照
2019年度	一般推薦の小論文課題参照

※一般推薦の小論文課題はP13に掲載。

(5) 過去5年間の試験結果

年度	学類・コース	志願者		受験者		合格者		入学者	
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子
2023年度	管理栄養士コース	1	1	1	1	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	0	0	0	0
2022年度	獣医学類	2	1	2	1	0	0	0	0
	環境共生学類	1	1	1	1	1	1	1	1
	計	3	2	3	2	1	1	1	1
2021年度	獣医学類	1	1	1	1	0	0	0	0
	計	1	1	1	1	0	0	0	0
2020年度	獣医学類	2	2	2	2	0	0	0	0
	計	2	2	2	2	0	0	0	0
2019年度	獣医学類	4	3	4	3	1	1	1	1
	計	4	3	4	3	1	1	1	1

■外国人留学生入学試験

(1) 試験日程

学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
全学類・コース	1月 5日(金)～ 1月15日(月) (当日必着)	2月4日(日)	本学	2月15日(木)	2月26日(月) (当日必着)

(2) 出願資格(事前に身元保証、経費計画などの確認がとれた者にのみ願書を渡します)

下記に掲げる(1)の要件をすべて満たし、(2)のすべてに該当している者

(1) 以下の要件をすべて満たすこと

- ① 外国の国籍を有する者で、日本以外の国で通常の課程による12年の学校教育を修了した者(本年度修了見込みの者を含む)。または、これに準ずる者(外国の国籍を有する者であっても、日本国内の高等学校等を卒業した者は除く)で、文部科学大臣の指定した者
- ② 日本の国籍を有し、日本国内に居住する確実な身元保証人がいること(保証人は、一家計を立てる成年者で、志願者の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者に限る)
- ③ 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」を取得済み、もしくは取得可能な者

(2) 以下のすべてに該当していること

○循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類・獣医保健看護学類

- ① 独立行政法人日本学生支援機構が行う「日本留学試験」の「日本語(聴解、聴読解、読解)」を受験し、それぞれの科目で一定の水準(平均点以上)に達した者、または日本語の素養を十分身につけていることが証明される者

管理栄養士コースは「コース」での募集となります。

○獣医学類

- ① 独立行政法人日本学生支援機構が行う「日本留学試験」の、下記のすべての科目を受験し、それぞれの科目で一定の水準(平均点以上)に達した者
「日本語(聴解、聴読解、読解及び記述)」、数学(コース2)、理科1科目(生物または化学)
※日本留学試験の出題言語は日本語または英語のいずれで受験してもよい。
- ② TOEFLペーパーテストまたはコンピュータテストを受験し、スコアを提出することができる者

本学は、留学生対象の特別な教育課程を有していません。通常の講義等は日本人学生とすべて同様に行われますので留意してください。

入学までの流れ

- ①出願資格の有無の確認 ▶ ②出願書類の提出 ▶ ③選考試験 ▶
④合否通知の発行 ▶ ⑤入学手続 ▶ ⑥入学

【受験資格確認のために必要な書類】

下記の書類を**2023年12月8日(金)まで**に提出いただき、出願資格の確認がとれた方へのみ、願書を送付します。本学所定用紙は、酪農学園大学受験生サイトでダウンロードする事が可能です。

- ① 入学志願者履歴書 ※本学所定用紙
- ② 日本語能力に関する証明書(日本留学試験の成績表のコピー)
- ③ 身元保証書(日本国籍を有し、国内に居住する身元保証人が記入) ※本学所定用紙
- ④ 身元保証人の年収証明(市区町村役場で発行された直近の所得証明書/3ヵ月以内のもの)
- ⑤ 身元保証人の住民票(市区町村役場で発行された3ヵ月以内のもの)
- ⑥ 経費計画書 ※本学所定用紙
- ⑦ 本人・身元保証人(学費負担者)の預貯金残高証明書のコピー

【出願資格の確認がとれた方が提出する出願書類(予定)】

入学志願書、高等学校の卒業(修了)証明書(日本語の翻訳を添付)、高等学校の成績証明書(日本語の翻訳を添付)、日本語学校の調査書(該当者のみ)、健康診断書、在留カードのコピー、同意書、TOEFL成績通知書(獣医学類出願者のみ)

(3) 選抜方法

選抜項目	点数	ワンポイント
小論文	100	60分800字、テーマの把握、論旨の展開、論証・文章量・誤字脱字・まとめ
面接	100	5～10分程度、志望動機・目標設定・勉強への意欲・言動・態度等
合計	200	

(4) 過去5年間の小論文課題

年度	学類	小論文課題
2023年度	獣医学類	日本で獣医学を学び研究を進めるにあたって、目標としていること、並びに母国と比べた場合の利点について、日本語 800 字以内でまとめなさい。
2022年度	※志願者なし	
2021年度	獣医学類	獣医師に求められる社会的ニーズと果たすべき責任について、日本語 800 字以内で述べなさい
2020年度	獣医学類	日本で獣医学を学ぶ意義について
2019年度	食と健康学類	和食(日本の伝統的な食品)の特徴について
	獣医保健看護学類	獣医療において動物看護師と獣医師がいかに協力して治療に当たることができるかは非常に重要である。その役割分担について例をあげながらあなたの考えを述べなさい

(5) 過去5年間の試験結果

年度	学類	志願者		受験者		合格者		入学者	
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子
2023年度	獣医学類	1	0	1	0	1	0	1	0
2022年度	※志願者なし	0	0	0	0	0	0	0	0
2021年度	獣医学類	1	1	1	1	1	1	1	1
2020年度	獣医学類	1	1	1	1	0	0	0	0
2019年度	食と健康学類	1	0	1	0	1	0	1	0
	獣医保健看護学類	2	1	2	1	1	0	1	0

(6) アルバイトについて

本学では外国人留学生の方の資格外活動(アルバイト)につきましては、入学から3ヵ月以上経過しなければ許可できません。

編入学試験

2年次編入学試験・3年次編入学試験

(1) 試験日程

試験期	学類・コース	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
第1期	循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類	11月 1日(水)～ 11月10日(金) (当日必着)	11月25日(土)	本学	12月8日(金)	12月21日(木) (当日必着)
第2期	循環農学類 食と健康学類 管理栄養士コース 環境共生学類	2月 2日(金)～ 2月19日(月) (当日必着)	3月3日(日)	本学	3月8日(金)	3月15日(金) (当日必着)

※外国人留学生の編入学試験については、外国人留学生試験日程(2月4日(日))で実施します。

(2) 出願資格

■2年次編入学試験

○循環農学類・食と健康学類(管理栄養士コースを除く)・環境共生学類

2024年3月31日までに、他の大学(短期大学を除く。)に1年以上在学し、31単位以上修得した者、または修得見込みの者。

■3年次編入学試験

○循環農学類・食と健康学類・管理栄養士コース・環境共生学類

次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 大学、短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所または旧国立養護教諭養成所を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者。
- ② 学士の学位を有する者、または2024年3月31日までに取得見込みの者。
- ③ 食と健康学類管理栄養士コースにおいては、栄養士養成施設の指定を受けた短期大学または専門学校を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者で、栄養士免許を取得した者、または取得見込みの者。
- ④ 2024年3月31日までに、他の大学(短期大学を除く)に2年以上在学し、62単位以上修得した者、または修得見込みの者。
- ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める従前の規定による学校の課程を修了し、またはこれらの学校を卒業した者。
- ⑥ 外国の大学、短期大学または高等専門学校を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者。
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を修了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者。
- ⑧ 修業年限が2年以上、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校の専攻科を修了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者。

・管理栄養士コースは「コース」での募集となります。

・獣医学類および獣医保健看護学類への編入学試験はありません。獣医学類を志望する方で、学士以上の学位を有する方、または2024年3月までに取得見込みの方は学士等推薦入学試験を受験できます。

(3) 選抜方法

選抜項目	点数	ワンポイント
小論文	100	60分800字、テーマの把握、論旨の展開、論証・文章量・誤字脱字・まとめ
面接	100	5～10分程度、志望動機・目標設定・勉学への意欲・言動・態度等
合計	200	

(4) 2023年度 編入学試験結果

2023年度 2年次編入状況

学群	学類	期	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子
農食環境学群	循環農学類	1期	0	0	0	0	0	0	0	0
		2期	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0
	食と健康学類	1期	0	0	0	0	0	0	0	0
		2期	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	0	0	0	0	0	0	0
	環境共生学類	1期	0	0	0	0	0	0	0	0
		2期	1	0	1	0	1	0	1	0
		小計	1	0	1	0	1	0	1	0
合計(1期)			0	0	0	0	0	0	0	0
合計(2期)			1	0	1	0	1	0	1	0
計			1	0	1	0	1	0	1	0

2023年度 3年次編入状況

学群	学類・コース	期	志願者		受験者		合格者		入学者		
			総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
農食環境学群	循環農学類	1期	0	0	0	0	0	0	0	0	
		1期 (学校推薦型)	9	2	9	2	9	2	9	2	
		2期	1	0	1	0	1	0	1	0	
		小計	10	2	10	2	10	2	10	2	
		食と健康学類	1期 (学校推薦型)	1	0	1	0	1	0	1	0
			2期	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		1	0	1	0	1	0	1	0	
	管理栄養士コース		1期	4	4	4	4	3	3	3	3
			2期	0	0	0	0	0	0	0	0
			小計	4	4	4	4	3	3	3	3
	環境共生学類	1期	0	0	0	0	0	0	0	0	
		1期 (学校推薦型)	1	0	1	0	1	0	1	0	
		2期	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計			1	0	1	0	1	0	1	0
	合計(1期)			15	6	15	6	14	5	14	5
合計(2期)			1	0	1	0	1	0	1	0	
計			16	6	16	6	15	5	15	5	

(5) 過去5年間の小論文課題

年度	第1期編入学試験	第2期編入学・転学類試験
2023年度	<p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全と安心をそれぞれ定義し、そのために必要なことを述べなさい 	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの削減や環境保全などの取り組みを促進するための方策について述べなさい <p>【食と健康学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食を通して人間社会に貢献するとは何か。あなたの考えを述べなさい <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失われた自然の再生においては、地域の生態系のバランスと復元力を重視すべきという理由を述べなさい
2022年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物のブランド化の必要性について <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの行動計画である[2030年までに世界食糧廃棄を半減する]について <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境、経済、公正な社会を求めるSDGsの観点から、カーボンニュートラルの実現に必要な対策 	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の食料自給率について特徴や課題 <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の保全という観点から、湿地が果たす役割や重要性について
2021年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動が農業に与える影響について <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食をめぐる現状と課題、食育の必要性について <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の持続可能性を高めるためにITやAIなどの技術をどのように活用すべきか 	<p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス時代に現金は必要か否かについて
2020年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が農業に及ぼす影響と、その改善に向けた方策 <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたの考える「食」のスペシャリスト像とはどのようなものか <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsが目指す「持続可能な開発」と「人と環境との共生」について 	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と農業以外の分野の連携について <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利点と課題について ・日本と他国における環境問題への取り組みの違いについて(外国人留学生)
2019年度	<p>【循環農学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の解消や農業の担い手確保に向けた取り組みに関して <p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あなたは「食」のスペシャリストになるために本学で何を学び、社会にどのような貢献をしたいと考えているか <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けた環境活動について 	<p>【食と健康学類・管理栄養士コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康学類で何を学び、社会にどのような貢献をしたいと考えているか <p>【環境共生学類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動に必要なコミュニケーションについて

3年次編入学試験(学校推薦型選抜)

(1) 試験日程

試験期	学類	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続締切日
第1期	循環農学類 食と健康学類 環境共生学類	11月 1日(水)~ 11月10日(金) (当日必着)	11月25日(土)	本 学	12月8日(金)	12月21日(木) (当日必着)

(2) 出願資格

○循環農学類・食と健康学類(管理栄養士コースを除く)・環境共生学類

本学を「専願^{※1}」志望で次の各号のいずれかに該当し、大学長や大学校長等が推薦する者。

- ① 大学、短期大学、高等専門学校を卒業した者、または2024年3月31日までに卒業見込みの者。
- ② 学士の学位を有する者、または2024年3月31日までに取得見込みの者。
- ③ 2024年3月31日までに、他の大学(短期大学を除く)に2年以上在学し、62単位以上修得した者、または修得見込みの者。
- ④ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る)を修了した者、または2024年3月31日までに修了見込みの者。

(3) 選抜方法

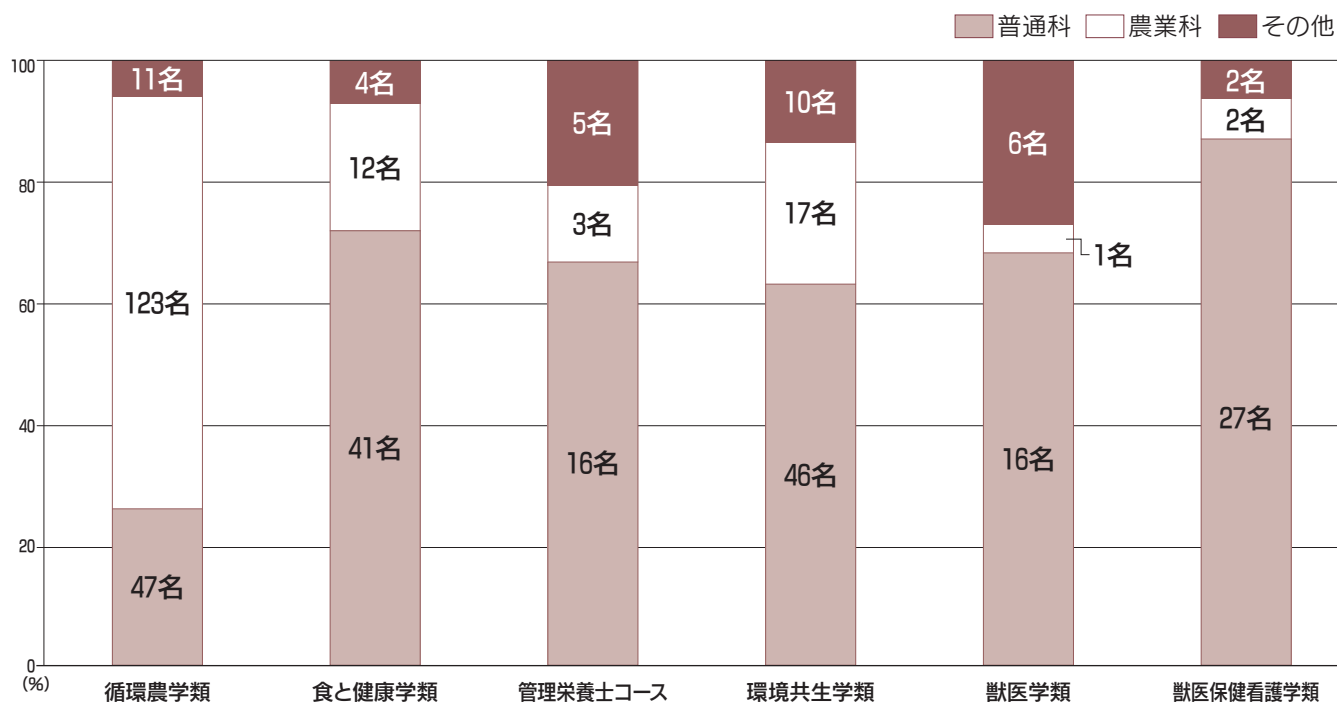
書類審査(志望理由書・推薦書・学業成績証明書)および面接試験(口頭試問を含む)により総合的に選抜します。

※ 1 専願とは、合格した場合必ず入学することを前提として出願することです。

2023年度 入学試験結果

学群・学類・コース別結果一覧

2023年度 推薦入学試験結果



■一般推薦入学試験

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	45	13	1	13	1	14	1	14	1	0.9
食と健康学類	18	3	2	3	2	3	2	3	2	1.0
管理栄養士コース	9	20	15	20	15	19	15	19	15	1.1
環境共生学類	28	11	4	11	4	11	4	11	4	1.0
獣医学類	5	37	27	37	27	5	4	5	4	7.4
獣医保健看護学類	10	49	45	49	45	23	21	23	21	2.1
一般推薦 合計	115	133	94	133	94	75	47	75	47	

※合格者には他学類からの第2志望合格者を含む。

■産業振興特別推薦入学試験

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	20	23	4	23	4	23	4	23	4	1.0
食と健康学類	4	1	0	1	0	1	0	1	0	1.0
管理栄養士コース	2	3	3	3	3	3	3	3	3	1.0
産業振興特別推薦 合計	26	27	7	27	7	27	7	27	7	

■指定校推薦入学試験

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	50	116	29	116	29	116	29	114	29	1.0
食と健康学類	40	44	16	44	16	44	16	43	15	1.0
管理栄養士コース	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
環境共生学類	20	40	14	40	14	40	14	40	14	1.0
獣医学類	10	6	2	6	2	6	2	6	2	0.8
獣医保健看護学類	9	6	5	6	5	6	5	6	5	1.0
指定校推薦 合計	137	213	67	213	67	213	67	210	66	

■自己推薦入学試験（Ⅰ期）

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	15	15	4	15	4	15	4	15	4	1.0
食と健康学類	17	9	2	9	2	9	2	9	2	1.0
環境共生学類	8	16	6	16	6	16	6	16	6	1.0
自己推薦（Ⅰ期） 合計	40	40	12	40	12	40	12	40	12	

■自己推薦入学試験（Ⅱ期・Ⅲ期）

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	10	11	5	11	5	11	5	11	5	1.0
食と健康学類	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
環境共生学類	3	4	0	4	0	4	0	4	0	1.0
自己推薦（Ⅱ期・Ⅲ期） 合計	17	15	5	15	5	15	5	15	5	

■環境共生貢献推薦入学試験

	募集人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
環境共生学類	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0

■日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	3	2	1	2	1	2	1	2	1	1.0
食と健康学類	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
管理栄養士コース	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
環境共生学類	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
獣医保健看護学類	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
日本学校農業クラブ活動特別推薦 合計	9	5	4	5	4	5	4	5	4	

■生産動物医療推薦入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	5	17	14	16	13	5	5	5	5	3.2

■動物病院後継者育成推薦入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	2	6	4	6	4	1	1	1	1	6.0

■農業高校・農業大学校推薦入学試験（農業高校）

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	2※	7	3	7	3	1	0	1	0	7.0

※募集人数は農業高校・農業大学校推薦入学試験合わせた人数となります。

■農業高校・農業大学校推薦入学試験（農業大学校）

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	2※	1	0	1	0	0	0	0	0	0.0

※募集人数は農業高校・農業大学校推薦入学試験合わせた人数となります。

■学士等推薦入学試験（学士）

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	3	14	11	14	11	5	4	5	4	2.8

■生産動物看護部門推薦入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医保健看護学類	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0

2023年度 学力入学試験結果

■第1期学力入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	67	47	21	43	20	57	30	17	7	0.8
食と健康学類	15	17	14	16	14	17	15	4	4	0.9
管理栄養士コース	12	27	20	27	20	19	15	12	8	1.4
環境共生学類	30	62	19	62	19	57	18	23	6	1.1
獣医保健看護学類	20	83	71	82	71	42	38	24	20	2.0
第1期学力入試 合計	144	236	145	230	144	192	116	80	45	

※合格者には他学類からの第2志望合格者を含む。

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 A日程(通常)

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	65	691	425	669	414	210	130	87	57	3.2

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 A日程(理科重点)

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	12	504	298	491	293	169	99	23	11	2.9

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 B日程

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
環境共生学類	6	19	8	19	8	16	7	5	2	1.2

■第2期学力入学試験

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	10	7	2	4	2	9	7	3	1	0.4
食と健康学類	5	2	0	2	0	3	0	2	0	0.7
管理栄養士コース	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0.0
環境共生学類	5	14	4	8	3	7	3	3	2	1.1
獣医保健看護学類	5	22	19	16	14	3	2	2	2	5.3
第2期学力入試 合計	27	47	25	32	19	22	12	10	5	

※合格者には他学類からの第2志望合格者を含む。

■第2期学力・共通テスト併用型入学試験(理科重点)

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
獣医学類	6	207	125	183	110	6	4	2	1	30.5

■共通テスト利用入学試験(前期)

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率	
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子		
循環農学類	10	71	30	71	30	53	23	6	4	1.3	
食と健康学類	10	31	17	31	17	28	14	5	1	1.1	
管理栄養士コース	4	24	22	24	22	16	15	2	2	1.5	
環境共生学類	5	80	38	80	38	67	33	6	1	1.2	
獣医学類	3教科5科目方式	5	202	120	185	111	6	3	0	0	30.8
	5教科5科目方式	5	161	102	146	95	9	8	0	0	16.2
獣医保健看護学類	7	83	71	83	71	44	40	10	9	1.9	
共通テスト利用(前期) 合計	46	652	400	620	384	223	136	29	17		

■共通テスト利用入学試験(後期)

	募集 人数	志願者		受験者		合格者		入学者		倍率
		総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
循環農学類	10	11	5	11	5	9	5	2	0	1.2
食と健康学類	5	4	3	4	3	3	3	0	0	1.3
管理栄養士コース	2	3	3	3	3	3	3	0	0	1.0
環境共生学類	3	12	3	12	3	10	3	3	1	1.2
獣医保健看護学類	2	8	6	8	6	3	2	2	1	2.7
共通テスト利用(後期) 合計	22	38	20	38	20	28	16	7	2	

2023年度 学力入学試験結果(合格者)

■第1期学力入学試験

	最高点	最低点	平均点
循環農学類	156	52	115.9
食と健康学類	158	50	116.0
管理栄養士コース	154	104	126.9
環境共生学類	163	70	118.2
獣医保健看護学類	171	120	138.4

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 A日程(通常)

	最高点	最低点	平均点
獣医学類 ※()は較正点	260.3 (246.2)	189.3 (188.2)	217.1 (206.0)

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 B日程

	最高点	最低点	平均点
環境共生学類	147	89	114.1

■共通テスト利用入学試験(前期)

	最高点	最低点	平均点	
循環農学類	165	102	131.3	
食と健康学類	166	92	122.9	
管理栄養士コース	164	119	132.1	
環境共生学類	161	92	127.1	
獣医学類	3教科5科目方式	533.2	502.0	516.8
	5教科5科目方式	517.8	500.0	508.2
獣医保健看護学類	168	120	138.1	

■第2期学力入学試験

	最高点	最低点	平均点
循環農学類	118	89	103.8
食と健康学類	134	95	114.5
管理栄養士コース	—	—	—
環境共生学類	163	65	116.7
獣医保健看護学類	143	133	139.3

■第1期学力・共通テスト併用型入学試験 A日程(理科重点)

	最高点	最低点	平均点
獣医学類 ※()は較正点	344.0 (305.8)	246.2 (236.7)	284.3 (259.3)

■第2期学力・共通テスト併用型入学試験 理科重点

	最高点	最低点	平均点
獣医学類 ※()は較正点	374.2 (309.4)	315.6 (276.6)	340.1 (288.2)

■共通テスト利用入学試験(後期)

	最高点	最低点	平均点
循環農学類	157	118	132.7
食と健康学類	166	132	145.3
管理栄養士コース	147	106	128.7
環境共生学類	151	88	120.2
獣医保健看護学類	164	152	158.0

2023年度 学力入学試験科目別選択率

入試日程・制度

推薦入学試験

学力入学試験

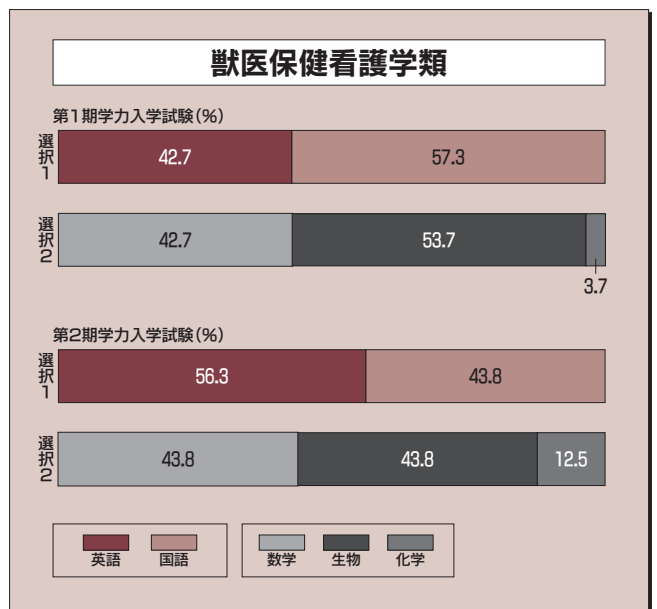
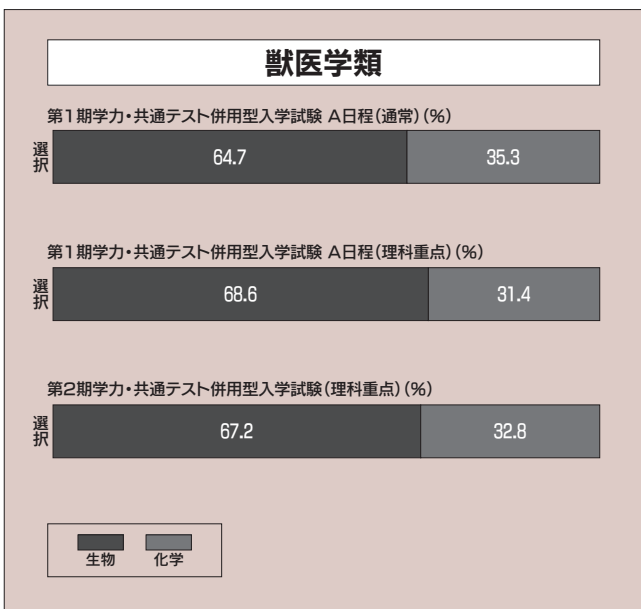
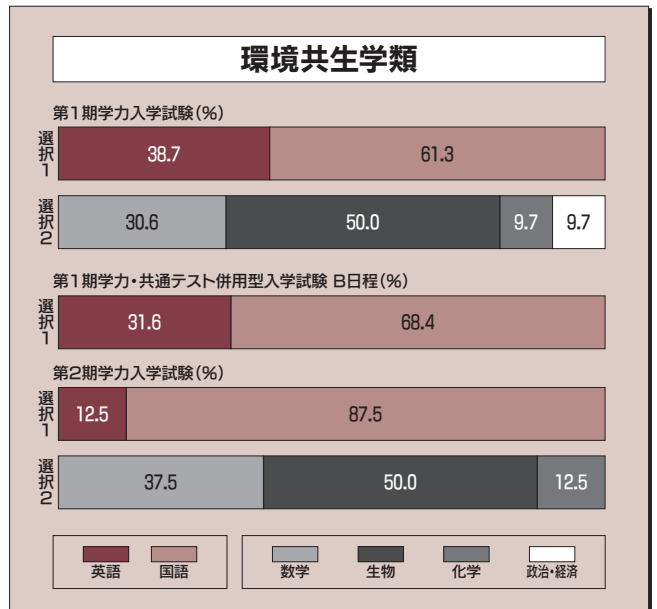
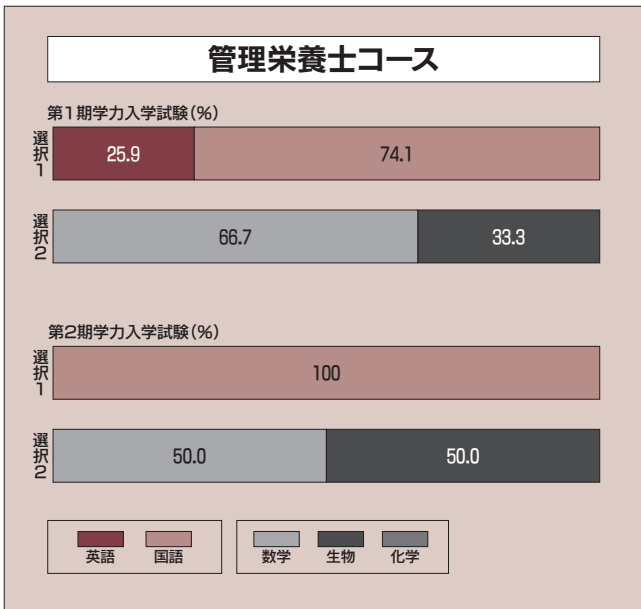
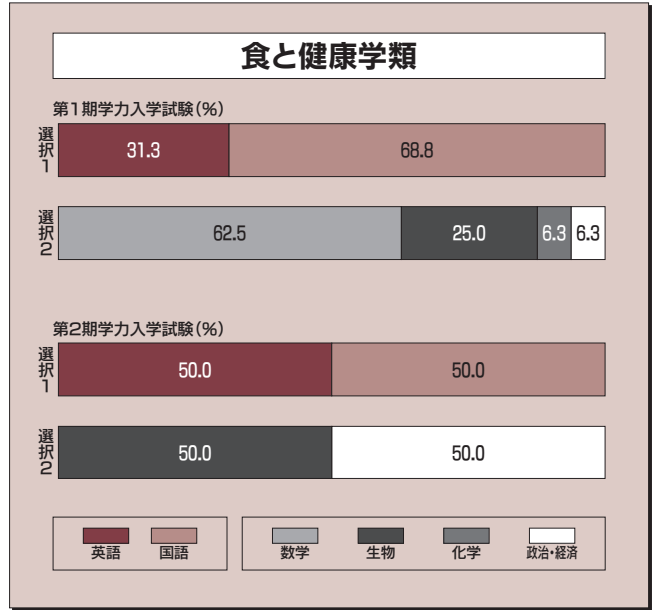
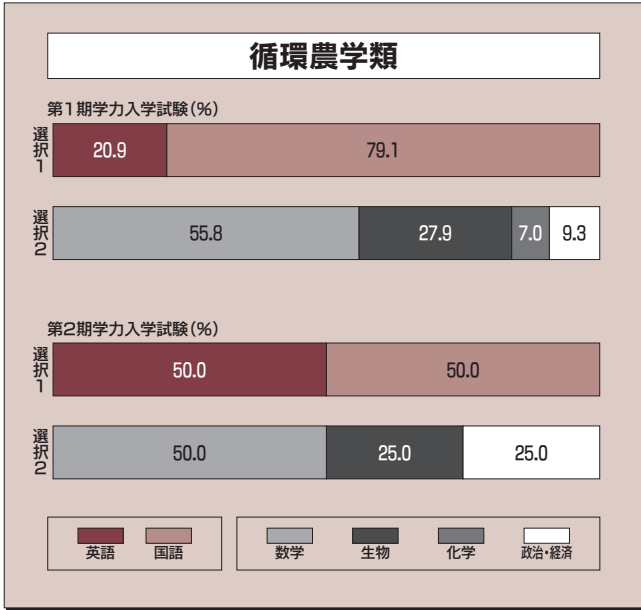
特別選抜試験

編入学試験

2023年度データ

Web出願方法

入学情報



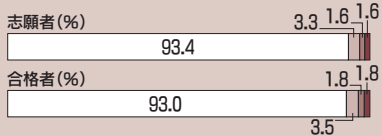
2023年度 学力入学試験現浪比

現役 1浪 2浪 その他

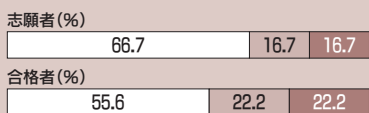
※構成比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

循環農学類

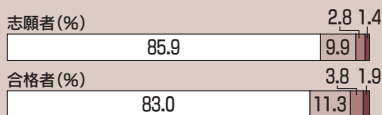
■第1期学力入学試験



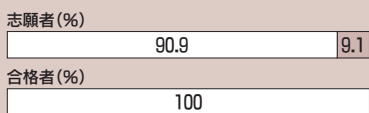
■第2期学力入学試験



■共通テスト利用入学試験(前期)

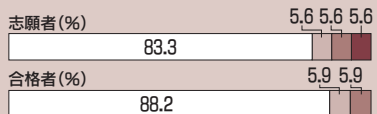


■共通テスト利用入学試験(後期)

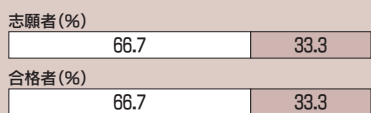


食と健康学類

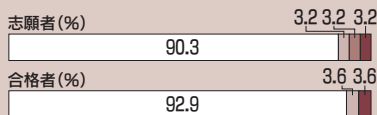
■第1期学力入学試験



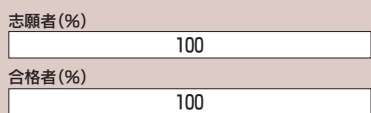
■第2期学力入学試験



■共通テスト利用入学試験(前期)

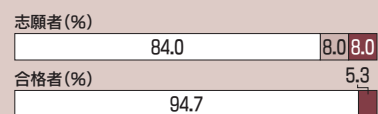


■共通テスト利用入学試験(後期)



管理栄養士コース

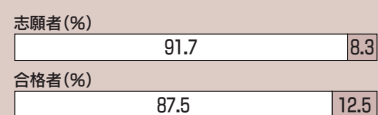
■第1期学力入学試験



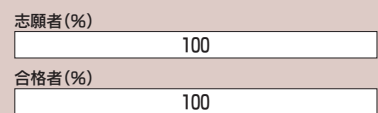
■第2期学力入学試験



■共通テスト利用入学試験(前期)

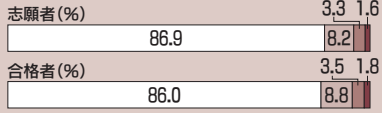


■共通テスト利用入学試験(後期)

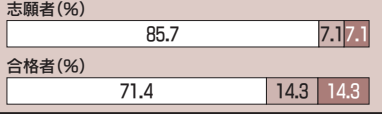


環境共生学類

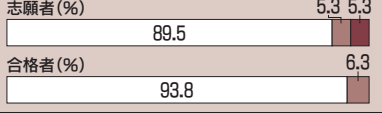
■第1期学力入学試験



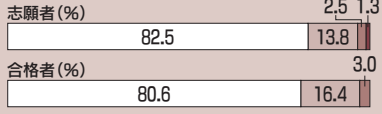
■第2期学力入学試験



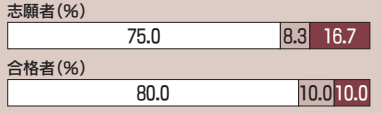
■第1期学力・共通テスト併用型入学試験



■共通テスト利用入学試験(前期)

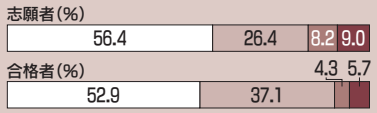


■共通テスト利用入学試験(後期)

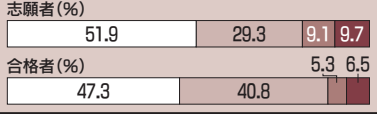


獣医学類

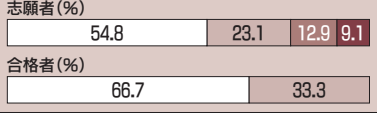
■第1期学力・共通テスト併用型入学試験(通常)



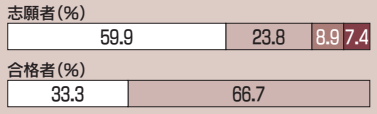
■第1期学力・共通テスト併用型入学試験(理科重点)



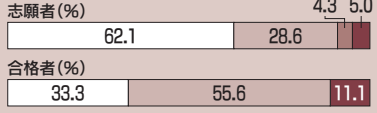
■第2期学力・共通テスト併用型入学試験(理科重点)



■共通テスト利用入学試験(3教科5科目方式)

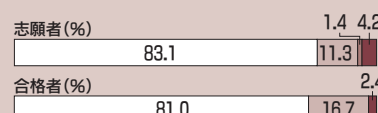


■共通テスト利用入学試験(5教科5科目方式)

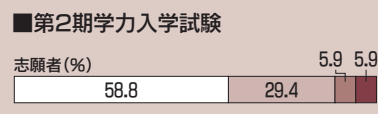


獣医保健看護学類

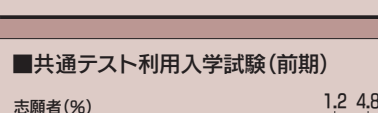
■第1期学力入学試験



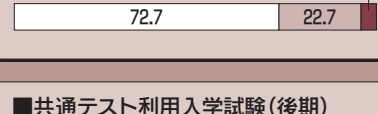
■第2期学力入学試験



■共通テスト利用入学試験(前期)



■共通テスト利用入学試験(後期)



入試日程・制度

推薦入学試験

学力入学試験

特別選抜試験

編入学試験

2023年度データ

Web出願方法

入学情報

在学生数都道府県別内訳(2023年4月1日現在)

	合計			循環農学類			食と健康学類			管理栄養士コース			
	在学者	内女子	構成率(%)	在学者	内女子	構成率(%)	在学者	内女子	構成率(%)	在学者	内女子	構成率(%)	
北海道	1,357	592	45.7	382	81	43.6	239	94	78.4	158	131	88.3	
東北	青森県	46	21	1.5	19	5	2.2	3	1	1.0			
	岩手県	40	21	1.3	10	2	1.1	3	1	1.0			
	宮城県	76	42	2.6	27	10	3.1	4	1	1.3	3	3	1.7
	秋田県	23	16	0.8	8	4	0.9	4	2	1.3	4	4	2.2
	山形県	18	8	0.6	3	2	0.3	2		0.7	1		0.6
	福島県	41	17	1.4	22	9	2.5	4	1	1.3			
	計	244	125	8.2	89	32	10.1	20	6	6.6	8	7	4.5
関東	茨城県	47	27	1.6	14	6	1.6	2		0.7	1	1	0.6
	栃木県	42	15	1.4	23	7	2.6	3	1	1.0			
	群馬県	21	11	0.7	9	5	1.0	1		0.3			
	埼玉県	97	53	3.3	36	19	4.1	4	1	1.3			
	千葉県	55	29	1.9	12	3	1.4	1		0.3	2	2	1.1
	東京都	167	101	5.6	31	16	3.5	7	1	2.3			
	神奈川県	88	51	3.0	30	15	3.4						
計	517	287	17.4	155	71	17.7	18	3	5.9	3	3	1.7	
中部	新潟県	28	12	0.9	15	6	1.7				1	1	0.6
	富山県	12	7	0.4	7	4	0.8						
	石川県	7	4	0.2	3	1	0.3						
	福井県	1											
	山梨県	13	5	0.4	2	1	0.2	1		0.3			
	長野県	24	10	0.8	12	6	1.4	1	1	0.3	1		0.6
	岐阜県	41	32	1.4	18	16	2.1	1		0.3			
	静岡県	40	26	1.3	14	6	1.6				1		0.6
	愛知県	93	58	3.1	18	9	2.1	2		0.7			
計	259	154	8.7	89	49	10.1	5	1	1.6	3	1	1.7	
近畿	三重県	20	10	0.7	10	2	1.1						
	滋賀県	13	7	0.4	5	3	0.6						
	京都府	47	27	1.6	18	8	2.1	2	2	0.7			
	大阪府	120	62	4.0	31	14	3.5	6	2	2.0	1		0.6
	兵庫県	89	51	3.0	27	9	3.1	2	1	0.7	1	1	0.6
	奈良県	23	16	0.8	1	1	0.1						
	和歌山県	5	3	0.2	1		0.1						
計	317	176	10.7	93	37	10.6	10	5	3.3	2	1	1.1	
中国	鳥取県	5	1	0.2	3		0.3						
	島根県	12	7	0.4	5	3	0.6	2		0.7	1	1	0.6
	岡山県	12	6	0.4	5	2	0.6						
	広島県	21	12	0.7	7	3	0.8						
	山口県	12	6	0.4	2	2	0.2	2		0.7	1		0.6
計	62	32	2.1	22	10	2.5	4		1.3	2	1	1.1	
四国	徳島県	5	4	0.2									
	香川県	9	6	0.3	3	1	0.3	1		0.3			
	愛媛県	10	5	0.3	4	1	0.5	2	1	0.7			
	高知県	13	8	0.4	5	1	0.6						
計	37	23	1.2	12	3	1.4	3	1	1.0				
九州・沖縄	福岡県	47	32	1.6	11	5	1.3	2	1	0.7			
	佐賀県	5	4	0.2	2	1	0.2						
	長崎県	13	6	0.4	1		0.1						
	熊本県	14	6	0.5	3	1	0.3						
	大分県	9	5	0.3	4	2	0.5						
	宮崎県	8	3	0.3	2		0.2						
	鹿児島県	22	9	0.7	4		0.5						
沖縄県	28	18	0.9	7	4	0.8	2	1	0.7				
計	146	83	4.9	34	13	3.9	4	2	1.3				
小計	2,939	1,472	99.0	876	296	29.5	303	112	10.2	176	144	5.9	
その他	31	14	1.0	1		0.1	2	1	0.7	3	1	1.7	
合計	2,970	1,486		877	296		305	113		179	145		

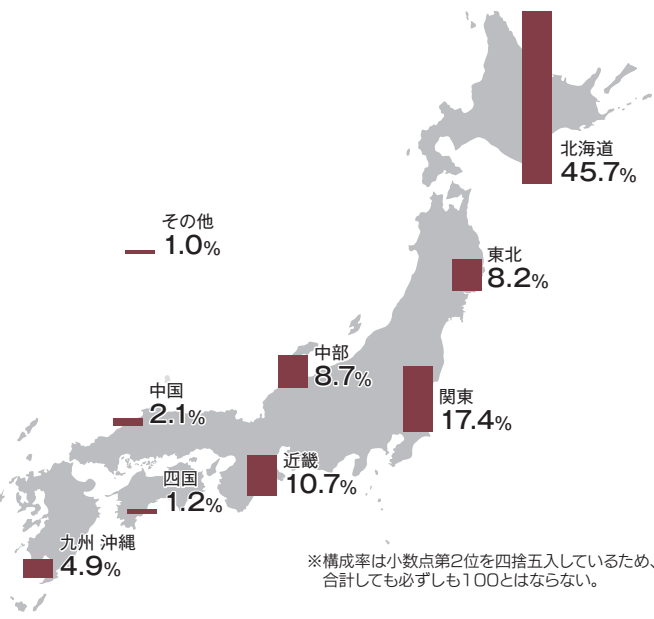
※在学者が0人、構成率が0%の場合、空欄にしております。
 ※構成率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

	環境共生学類			獣医学類			獣医保健看護学類			
	在学者	内女子	構成率(%)	在学者	内女子	構成率(%)	在学者	内女子	構成率(%)	
北海道	284	75	58.9	163	93	19.2	131	118	47.1	
東北	青森県	5	1	1.0	11	6	1.3	8	8	2.9
	岩手県	8	6	1.7	16	9	1.9	3	3	1.1
	宮城県	7	3	1.5	17	10	2.0	18	15	6.5
	秋田県	2	1	0.4	3	3	0.4	2	2	0.7
	山形県	6	1	1.2	4	3	0.5	2	2	0.7
	福島県	5	1	1.0	7	3	0.8	3	3	1.1
	計	33	13	6.8	58	34	6.8	36	33	12.9
関東	茨城県	6	4	1.2	21	14	2.5	3	2	1.1
	栃木県	5	1	1.0	10	5	1.2	1	1	0.4
	群馬県	2		0.4	9	6	1.1			
	埼玉県	18	8	3.7	30	17	3.5	9	8	3.2
	千葉県	6	1	1.2	32	21	3.8	2	2	0.7
	東京都	21	11	4.4	89	57	10.5	19	16	6.8
	神奈川県	9	4	1.9	44	29	5.2	5	3	1.8
	計	67	29	13.9	235	149	27.7	39	32	14.0
中部	新潟県	2		0.4	8	4	0.9	2	1	0.7
	富山県	3	1	0.6	1	1	0.1	1	1	0.4
	石川県				2	1	0.2	2	2	0.7
	福井県				1		0.1			
	山梨県	1		0.2	8	3	0.9	1	1	0.4
	長野県	4	1	0.8	6	2	0.7			
	岐阜県	7	6	1.5	14	9	1.6	1	1	0.4
	静岡県	4	3	0.8	17	14	2.0	4	3	1.4
	愛知県	10	6	2.1	50	31	5.9	13	12	4.7
計	31	17	6.4	107	65	12.6	24	21	8.6	
近畿	三重県	1	1	0.2	6	4	0.7	3	3	1.1
	滋賀県	1	1	0.2	7	3	0.8			
	京都府	5	3	1.0	15	7	1.8	7	7	2.5
	大阪府	15	7	3.1	59	31	6.9	8	8	2.9
	兵庫県	8	3	1.7	38	26	4.5	13	11	4.7
	奈良県	5	2	1.0	14	11	1.6	3	2	1.1
	和歌山県	1	1	0.2	2	2	0.2	1		0.4
	計	36	18	7.5	141	84	16.6	35	31	12.6
中国	鳥取県				2	1	0.2			
	島根県	2	1	0.4	1	1	0.1	1	1	0.4
	岡山県	2		0.4	4	3	0.5	1	1	0.4
	広島県	1		0.2	10	6	1.2	3	3	1.1
	山口県	1		0.2	6	4	0.7			
	計	6	1	1.2	23	15	2.7	5	5	1.8
四国	徳島県				4	3	0.5	1	1	0.4
	香川県				4	4	0.5	1	1	0.4
	愛媛県				4	3	0.5			
	高知県	1		0.2	7	7	0.8			
	計	1		0.2	19	17	2.2	2	2	0.7
九州・沖縄	福岡県	3	3	0.6	28	20	3.3	3	3	1.1
	佐賀県				3	3	0.4			
	長崎県	1	1	0.2	11	5	1.3			
	熊本県	3	1	0.6	7	3	0.8	1	1	0.4
	大分県	2	1	0.4	3	2	0.4			
	宮崎県	1	1	0.2	5	2	0.6			
	鹿児島県	2		0.4	16	9	1.9			
	沖縄県	5	3	1.0	14	10	1.6			
計	17	10	3.5	87	54	10.2	4	4	1.4	
小計	475	163	16.0	833	511	28.0	276	246	9.3	
その他	7	2	1.5	16	9	1.9	2	1	0.7	
合計	482	165		849	520		278	247		

※在学者が0人、構成率が0%の場合、空欄にしております。

※構成率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

在校生の主な出身高校(高専、中等教育学校を含む)



*構成率は小数点第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

北海道

- List of schools and student counts in Hokkaido, categorized by school type: 石狩:国公立高校, 札幌:私立高校, etc.

- List of schools and student counts in Hokkaido, categorized by school type: 釧路:国公立高校, 網走:私立高校, etc.

- List of schools and student counts in Hokkaido, categorized by school type: 旭川:国公立高校, 十勝:私立高校, etc.

- List of schools and student counts in Hokkaido, categorized by school type: 網走南ケ丘, 旭川, etc.

- List of schools and student counts in Hokkaido, categorized by school type: 青森:国公立高校, etc.

茨城県

- List of schools and student counts in Ibaraki Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

東京都

- List of schools and student counts in Tokyo: 国公立高校, 私立高校.

秋田県

- List of schools and student counts in Akita Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

栃木県

- List of schools and student counts in Tochigi Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

山形県

- List of schools and student counts in Yamagata Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

千葉県

- List of schools and student counts in Chiba Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

岩手県

- List of schools and student counts in Iwate Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

群馬県

- List of schools and student counts in Gunma Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

福島県

- List of schools and student counts in Fukushima Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

宮城県

- List of schools and student counts in Miyagi Prefecture: 国公立高校, 私立高校.

埼玉県

- List of schools and student counts in Saitama Prefecture: 国公立高校.

Web出願による出願の流れ



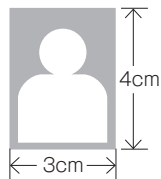
出願方法や出願に必要な書類の詳細については、6月中旬に受験生サイトにて公表予定である「2024 入学試験要項」でお知らせいたします。

- ・本学所定用紙も同時期（6月中旬）に受験生サイトの出願書類一覧に掲載いたしますので、過去の様式を使用しないようご注意ください。
- ・出願するためには、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン・タブレットのほか、プリンターや受信可能なメールアドレスが必要となりますので、出願期間に使用できるようご準備ください（P48もご確認ください）。
- ・出願期間前に準備できる書類等については、できるだけ前もって準備をしておいてください。

▶ Web出願登録前に準備しておく書類について

写真（写真票貼付用）

写真は上半身、正面、脱帽、背景無地、出願前おおむね3ヵ月以内に撮影したもの。裏面に志望学類またはコース、氏名を記入し、Web出願登録後にダウンロード・印刷した写真票に全面糊付けをして貼り付けてください。デジタル写真の場合、**写真専用紙等を使用し**、画質に注意してください（不鮮明の場合は受付できません）。



志望理由書、推薦書 ※本学所定用紙

推薦入試および2年次・3年次編入学試験の志願者のみ必要。学校推薦型選抜における推薦書は、出身学校長または大学長等が作成し厳封したもの。

後継予定者確認書 ※本学所定用紙

産業振興特別推薦入学試験のB推薦出願者、動物病院後継者育成推薦出願者は全員提出。また、自己推薦、指定校推薦、日本学校農業クラブ活動特別推薦出願者で後継予定者は必ず提出してください。

調査書

出身学校長が証明し、厳封したもの（なお、調査書を提出できない場合、卒業証明書および単位修得証明書を提出してください）。高等学校卒業程度認定試験合格（見込み）者および大学入学資格検定合格者は、次の証明書を提出してください。

合格者：『合格証明書』および『合格成績証明書』
合格見込者：『高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書』

調査書は試験ごとに提出してください。

令和6年度大学入学共通テスト成績請求票（私立・短期大学用）

共通テスト利用入試（前期・後期）の志願者、（第1期・第2期）学力・共通テスト併用型入試の志願者が必要。大学入学共通テスト出願後、大学入試センターより送付される受験票に添付されています。各自の成績請求票をWeb入学志願票の所定の位置に貼り付けてください。

受験生のための入試Q&A

推薦入学試験について

Q. 一般推薦、産業振興特別推薦、自己推薦の違いを教えてください。

A. 受験する学類・コースによって、募集の有無および全体の学習成績の状況・浪人年数の基準が異なりますので注意が必要です。選抜はすべて200点満点で行われますが、それぞれの趣旨に応じて配点が異なります。

一般推薦は学校推薦型選抜であるため、出身高等学校長の推薦が必要です。
一方、産業振興特別推薦および自己推薦は総合型選抜であり、出身高等学校長の推薦は必要ありません。

- ・一般推薦は高校課程を問わず出願可能です。
- ・産業振興特別推薦にはA推薦とB推薦があります。A推薦は専門学科高等学校が対象で学類・コースにより対象の学科が異なります。B推薦は農業または地域産業の後継者を対象とし、高校の学科は問いません。
- ・自己推薦(I期・II期・III期)は全体の学習成績の状況の基準に加えて、以下の3つのいずれか1つの条件を満たすことが必要です。浪人年数は問いません。

1. 本学への明確な入学目標があり、それを実践できる熱意・能力がある者
2. 生徒会長(副会長)、常設委員会の委員長(副委員長)、クラブにおいては主将(副主将)・部長(副部長)の経験者
3. 都道府県レベルの各種大会出場者および顕著な活動歴(ボランティア活動等)のある者

※自己推薦(III期)を除き、すべて専願扱いとなります。また、1校あたりの出願人数に制限はありません。

Q. 私の高校は「総合学科」です。授業科目には農業関連科目・食品関連科目・環境関連科目などがありますが、産業振興特別推薦で出願することはできますか。

A. 「総合学科」でも、履修する授業科目の内容によって産業振興特別推薦のA推薦(専門学科高等学校対象)で出願することが可能です。出願にあたっては、担任の先生や進路指導の先生を通じて入試広報センターにお問い合わせください。

Q. 私は高校2年生の時に1ヵ月間留学しましたが、調査書点の対象となりますか。

A. 対象となります。留学期間2週間以上のものを対象とします。

Q. 農業後継予定者や地域産業後継予定者に有利な制度はありますか。

A. 産業振興特別推薦のB推薦(後継者対象)または動物病院後継者育成推薦(獣医学類のみ)が利用できます。ただし、B推薦は本学所定の確認書の提出が必要になります。動物病院後継者育成推薦は①親族との関係がわかる公的な証明書(戸籍謄本等)、②親族の獣医師免許証の写し、③病院の開設届出済証明書等の提出が必要になります。

Q. 既卒者ですが、推薦入試の出願はできますか。

A. 獣医学類の推薦入試と獣医保健看護学類の生産動物看護部門推薦は1浪まで、また日本学校農業クラブ活動特別推薦は卒業見込者のみの制限がありますが、他の推薦入試は浪人年数を問いません。ただし、いずれも出願資格を満たし、総合型選抜である産業振興特別推薦、環境共生貢献推薦、自己推薦(I期・II期・III期)以外は出身高等学校長の推薦が必要です。

Q. 入試特待生制度について教えてください。

A. この制度は入学年次の前学期授業料を免除するというものです。
推薦入試の場合は本学を第一志望としながらも、経済的理由から修学が困難であり、かつ入試成績が優秀な学生が対象となります。
また学力入試の場合は合格者の中から上位8%以内の学生が対象となります(P53参照)。

Q. 専願の意味について教えてください。

A. 専願とは、合格した場合、必ず入学することを前提として出願することです。

学力入学試験について

Q. 学力入学試験で本学以外の試験会場はどこですか。また会場による有利・不利はありますか。

A. 本学以外の試験会場は、第1期では仙台・東京・名古屋・大阪・福岡、第2期では東京・大阪に設定します。詳しい場所等は6月中旬に公表予定である「2024入学試験要項」をご覧ください。また、会場による有利・不利は一切ありません。

Q. 第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験A日程(獣医学類)と第1期学力入学試験(獣医学類以外)の併願はできますか。

A. それぞれ別の日程で入学試験が実施されますので、第1期学力入学試験の1学類(コース)との併願が可能です。また、いずれの試験も循環農学類・食と健康学類(管理栄養士コースを除く)のいずれかを第2志望として選択できます。

Q. 第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験A日程(獣医学類)とB日程(環境共生学類)の併願はできますか。

A. A日程(獣医学類)とB日程(環境共生学類)は別の日程で入学試験が実施されますので、併願することができます。ただし、B日程(環境共生学類)と第1期学力入学試験(獣医学類以外)は同じ日程で実施されるため、第1期学力入学試験で環境共生学類以外の学類(コース)に出願する場合は、B日程(環境共生学類)に出願することはできません。第1期学力入学試験(獣医学類以外)で環境共生学類に出願する場合のみB日程(環境共生学類)と併願することができます。

Q. 大学入学共通テスト利用入学試験(前期)で獣医学類の3教科5科目方式と5教科5科目方式の併願はできますか。

A. 併願することができます。ただし、令和6年度大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験する必要がありますので、ご注意ください。
必要な教科・科目は該当のページ(P25)でご確認ください。

Q. 学力入学試験と大学入学共通テスト利用入学試験の併願はできますか。

A. 併願することができます。合否判定はそれぞれの入試の出願先ごとに行います。大学入学共通テスト利用入学試験は、本学のすべての学類で実施しておりますので全学類への出願が可能です(後期は獣医学類を除く)。大学入学共通テスト利用入学試験は、出願書類および入学検定料(15,000円)が、それぞれの学類ごとに必要となります。

入学試験全般について

Q. 障がいがある場合、受験に際し制限はありますか。

A. 受験の際の制限はありません。ただし、個々の障がいに応じ受験時に配慮が必要な場合、また受験時に限らず入学後の就学に際し何らかの配慮が必要な場合がありますので、出願前に入試広報センターにご相談ください。

Q. 自宅にパソコンやプリンターがない場合は出願できませんか。

A. できます。自宅以外(学校等)のパソコンも利用可能です。プリンターがない場合は、一部のコンビニにて、メディアリーダーを備えたコピー機があります。お持ちの記録メディアに印刷が必要なPDFファイルを入れて、コンビニ店頭へお持ちください。※やむを得ない事情がある場合は、入試広報センター (TEL.011-388-4138)に直接お問い合わせください。

Q. メールアドレスがない場合はどうしたらいいですか。

A. メールアドレスは、携帯電話やフリーメール(Gmail、Yahoo!メールなど)でも構いません。ご登録いただいたアドレスには、出願登録完了、支払い完了の確認、出願完了の確認のご案内などが送信されますので、必ず登録してください。携帯電話のアドレスの場合はドメイン(@rakuno.ac.jp)を受信可能な設定にしてください。

学納金・その他徴収金

2024年度入学生 学納金・その他の徴収金(参考)

2024年度入学生の正式な学納金・その他徴収金は合格通知の際にお知らせいたします。

【農食環境学群 循環農学類・食と健康学類・環境共生学類】

【学納金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入 学 金	200,000	0	0	0	0	0	0	0
授 業 料	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000	445,000
実 験 実 習 料	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
施 設 設 備 費	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
計	820,000	620,000	620,000	620,000	620,000	620,000	620,000	620,000
(年 額 計)	1,440,000		1,240,000		1,240,000		1,240,000	

【その他の徴収金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
学類オリエンテーション費	5,000	0	0	0	0	0	0	0
諸 会 費	医療互助会費	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000
	学生生活援護会費	7,000	0	7,000	0	7,000	0	7,000
	同窓会費	30,000	0	0	0	0	0	0
計	44,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	7,000

【学納金・その他の徴収金合計】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
合 計	864,000	620,000	629,000	620,000	629,000	620,000	629,000	627,000
(年 額 計)	1,484,000		1,249,000		1,249,000		1,256,000	

【獣医学群 獣医学類】

【学納金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入 学 金	300,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
授 業 料	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000
実 験 実 習 料	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
施 設 設 備 費	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000
計	1,395,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000	1,095,000
(年 額 計)	2,490,000		2,190,000		2,190,000		2,190,000		2,190,000		2,190,000	

【その他の徴収金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
学類オリエンテーション費	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
諸 会 費	医療互助会費	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000
	学生生活援護会費	7,000	0	7,000	0	7,000	0	7,000	0	7,000	0	7,000
	同窓会費	60,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	74,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	7,000

【学納金・その他の徴収金合計】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
合 計	1,469,000	1,095,000	1,104,000	1,095,000	1,104,000	1,095,000	1,104,000	1,095,000	1,104,000	1,095,000	1,104,000	1,102,000
(年 額 計)	2,564,000		2,199,000		2,199,000		2,199,000		2,199,000		2,206,000	

【獣医学群 獣医保健看護学類】

【学納金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
入 学 金	200,000	0	0	0	0	0	0	0
授 業 料	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000
実 験 実 習 料	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
施 設 設 備 費	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000	135,000
計	860,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000	660,000
(年 額 計)	1,520,000		1,320,000		1,320,000		1,320,000	

【その他の徴収金】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次		
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	
学類オリエンテーション費	5,000	0	0	0	0	0	0	0	
諸 会 費	医療互助会費	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000	0
	学生生活援護会費	7,000	0	7,000	0	7,000	0	7,000	7,000
	同窓会費	30,000	0	0	0	0	0	0	0
計	44,000	0	9,000	0	9,000	0	9,000	7,000	

【学納金・その他の徴収金合計】

(単位 円)

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
合 計	904,000	660,000	669,000	660,000	669,000	660,000	669,000	667,000
(年 額 計)	1,564,000		1,329,000		1,329,000		1,336,000	

【入学金について】

酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校を卒業した方と日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験を受験し入学する方の入学金は免除されます。

【その他の徴収金について】

1. 学類オリエンテーション費 (照会先 学務部学務課 011-388-4128)

入学時に行われる各学類の新入生オリエンテーション実施に係る経費を、入学手続き時に徴収するものです。

2. 諸会費

大学は、次の各会から会費の代理徴収を受託しており、入学手続き時、学納金納付時に合わせて徴収するものです。

(1) 医療互助会費 (照会先 教育センター学生支援課 011-388-4122)

学生の相互扶助精神に基づき、学生の疾病・負傷・死亡について医療給付等を行い、さらに健康保持、増進をはかることを目的とする医療互助会の会費を大学が代理徴収するものです。

(2) 学生生活援護会費 (照会先 教育センター学生支援課 011-388-4122)

学生生活に対する奨励・援助等を目的とする学生生活援護会の会費を大学が代理徴収するものです。

(主な事業は課外活動補助・学生教育研究災害傷害保険への加入・三愛金庫(貸付制度)等を行っています。)

(3) 同窓会費 (照会先 酪農学園同窓会 011-386-1196)

同窓生間の交流と親睦を深めつつ、学園教育の発展に寄与することを目的とする同窓会の会費を大学が代理徴収するものです。

※ご不明な点については、それぞれの照会先に直接お問合せください。

改定される場合があります。正式な学納金・その他徴収金は合格通知送付の際にお知らせいたします。

奨学金制度

奨学金制度は、経済的に困窮している学生に対し、学資金を給付または貸与することにより、学業に専念できる時間をより多く確保し、安心して学生生活が送れるよう支援することを目的としています。
本学で取り扱っている主な奨学金制度は、次の通りです。

■日本学生支援機構奨学金(JASSO)

本学では日本学生支援機構の奨学金も取り扱っております。
詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。
<https://www.jasso.go.jp/>

■その他奨学金(一部抜粋)

本学には年間30件近く民間団体や自治体等より奨学金の案内が届きます。受給など条件がありますので詳細は学生支援課にてお尋ねください。

(下記は2022年度における本学学生の採用実績です。)

奨学金名	支給形態
あしなが育英会	給付・貸与
交通遣児育英会	給付・貸与
いわての学び希望基金奨学金	給付
札幌市奨学金	給付
JEES・JRA 獣医学生奨学金	給付
毎日希望奨学金	給付
森記念奨学金	給付
北海道信用金庫奨学財団	給付
高居百合子獣医学奨学財団	給付
工藤育英会	給付
栗林育英学術財団	給付
戸部眞紀財団	給付
コカ・コーラ教育・環境財団	給付
熱海市育英事業奨学金	貸与
石川県育英資金	貸与
新冠町奨学金	貸与
山口県ひとつくり財団大学奨学金	貸与
福島県奨学金	貸与
白糠町奨学金	貸与

■株式会社丹波屋100周年記念奨学金

給付奨学金	年額360,000円
資格	1.農食環境学群3年次在学学生 2.北海道の農業関連産業に就職の意思を有する学生 3.前年度のGPAが2.35以上 4.家計基準を満たす学生

■特待生制度

特別奨学金	年額240,000円
資格	1年以上在学し 1.学業成績・人物共に優れた者 2.課外活動において優秀な成績を収め、学業と両立し人物ともに優れた者

■授業料免除制度

免除額	授業料の半額を免除
免除期間	1年間
届出期間	前期(4月30日)、後期(10月15日)まで
資格	学費負担者が 1.死亡または生別した場合 2.失職した場合 3.病気または事故等で著しく収入が減少した場合 4.火災・風水害等の災害を受けた場合

■大規模災害特別授業料等免除制度

免除額	被害状況により、決定する。 授業料、実験実習料及び施設設備費の年額の2分の1以内または4分の1以内
資格	学費負担者が 1.自宅の全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊、全焼、半焼、床上浸水または床下浸水を受け、災害救助法適用地域 2.1.と同等の被害を受け、災害救助法適用地域の近隣地域にある場合 3.災害により死亡または行方不明となった場合 4.災害により失職した場合

学生寮

寮・下宿・アパート・マンション

■学生寮について

本学では、遠隔地出身の学生のために、学生寮を設置しています。
 広大な石狩平野の野幌森林公園に隣接し、自然に恵まれた牧歌的環境の中にあります。
 学生寮は、寮生委員会を中心に自主的に共同生活が展開されています。
 (入寮の申し込み方法は合格通知書に同封します。)

●収容人員(2023年度)

寮名	希望寮(男子)	清温寮(女子)
収容人員	204人(1人部屋12室、4人部屋48室) ※1年生は4人部屋となります。	200人(1人部屋20室、2人部屋26室、4人部屋32室) ※1年生は4人部屋となります。

●寮費(年間) ※2023年度実績となっており、改定される場合があります。

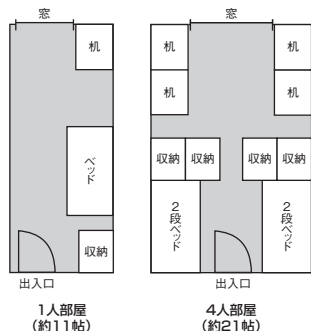
寮名	希望寮(男子)		清温寮(女子)	
入寮費	60,000円		60,000円	
学寮費	1人部屋	426,000円	1人部屋	426,000円
	4人部屋	366,000円	2人部屋	390,000円
			4人部屋	366,000円
食費	(2食)	258,000円	(2食)	258,000円

※入寮費・学寮費・食費は、本学所定の払込用紙により納付となります。
 ※入寮費・学寮費・食費を納付しない場合は、入寮資格を失います。
 ※学寮費・食費は、年間4期に分けて納付します。
 ※一旦納付した入寮費は、理由の如何にかかわらず返還しません。
 ※入寮費と学寮費は、学生寮施設・設備の維持・管理運営費に充てられます。
 ※長期休業中の食事提供はありません。
 ※原則一年間は退寮できません。

希望寮(男子) (2015年竣工)

江別市文京台緑町585番地(大学キャンパス内)鉄筋コンクリート4階建

- 共用施設
 食堂・浴室・シャワー室・洗面所・ロッカー室・洗濯室・集会室・学習室・多目的室・フリールーム・ラウンジ・キッチン・トイレ
- 個人設備
 ベッド・クローゼット・机・椅子・本棚
- 部屋

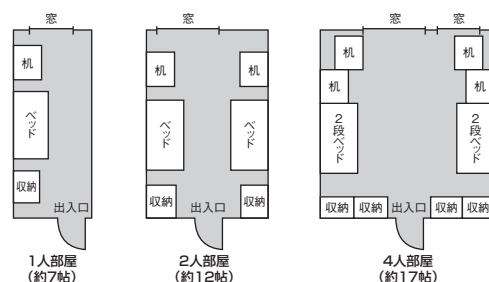


- 食事
 朝食時間 7:30 ~ 9:00
 夕食時間 18:30 ~ 22:00
- 入浴
 入浴 16:00 ~ 24:00
 シャワー 午前 6:00 ~ 10:00
 午後 15:00 ~ 24:00
- 門限 24:00
- 洗濯
 全自動洗濯機24台と乾燥機20台があります。

清温寮(女子) (2010年竣工)

江別市文京台緑町569番地(大学キャンパス内)鉄筋コンクリート4階建

- 共用施設
 食堂・浴室・シャワー室・洗面所・洗濯室・給湯室・学習室・キッチン・トイレ
- 個人設備
 ベッド・クローゼット・机・椅子・本棚
- 部屋



- 食事
 朝食時間 7:00 ~ 9:00
 夕食時間 18:30 ~ 22:00
- 入浴
 入浴 17:00 ~ 24:00
 シャワー 午前 6:00 ~ 10:00
 午後 16:00 ~ 24:00
- 門限 22:30
- 洗濯
 全自動洗濯機35台と乾燥機32台があります。
 (女子高校生と共用)

■下宿・アパート・マンション

下宿・アパート・マンションは、酪農学園生活協同組合(TEL011-386-7311)が斡旋しています。

◎1カ月の下宿代 下宿:49,000円~63,000円程度、アパート・マンション:20,000円~60,000円程度

入試特待生・減免制度

入試特待生制度について

本学では受験生の方を支援させていただくために、次の4つの入試特待生制度を設けております。

1. 推薦入学試験特待生

本学を第一志望としながらも経済的理由から修学が困難であり、かつ入学試験の成績が優秀な学生について、入学年次の「前学期授業料(授業料以外の学納金および諸会費は納付が必要になります。)」を免除する制度です。

- ◆推薦入学試験(一般推薦・産業振興特別推薦(専門学科高等学校対象の「A推薦」)・内部進学推薦・指定校推薦・アグリマイスター推薦・自己推薦・環境共生貢献推薦・生産動物医療推薦・農業高校および農業大学校推薦・学士等推薦・生産動物看護部門推薦)を受験される方が対象で、人数は入学定員の3%程度です。
- ◆特待生を希望される方は、出願時に申請書類の提出が必要となります。ただし、10月に実施する総合型選抜の志願者については、Web出願登録時に申請希望の欄にチェックを入れ、合格発表後に申請書類を提出することとなります(Web出願登録時に申請希望の欄にチェックを入れなかった場合、合格後に申し出て申請することはできません)。
- ◆選抜は、提出書類(家計調査書)および入学試験成績に基づいて総合的に行います。

2. 後継者特待生

本学の建学の理念に基づき、農業後継者・地域産業振興後継者の予定者および産業振興特別推薦「B推薦」・内部進学推薦・指定校推薦・自己推薦・動物病院後継者育成推薦における後継予定者で、本学を第一志望としながらも経済的理由から修学が困難であり、かつ入学試験の成績が優秀な学生について、入学年次の「前学期授業料(授業料以外の学納金および諸会費は納付が必要になります。)」を免除する制度です。

- ◆産業振興特別推薦の後継者対象「B推薦」・内部進学推薦・指定校推薦・自己推薦・動物病院後継者育成推薦における後継予定者で受験される方が対象で、人数は入学定員の3%程度です。
- ◆特待生を希望される方は、出願時に申請書類の提出が必要となります。ただし、10月に実施する総合型選抜の志願者については、Web出願登録時に申請希望の欄にチェックを入れ、合格発表後に申請書類を提出することとなります(Web出願登録時に申請希望の欄にチェックを入れなかった場合、合格後に申し出て申請することはできません)。
- ◆選抜は、提出書類(家計調査書)および入学試験成績に基づいて総合的に行います。

3. 成績優秀者特待生

第1期学力入学試験、第2期学力入学試験、第1期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験、第2期学力入学試験・大学入学共通テスト併用型入学試験、大学入学共通テスト利用入学試験(前期・後期)で受験される方が対象です。下記要件の該当者は、入学年次の「前学期授業料(授業料以外の学納金および諸会費は納付が必要になります。)」を免除する制度です。

- ◆各学類合格者の上位8%以内の者とする。ただし、獣医学群獣医学類以外は、素点合計70%以上の得点者。

4. 日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験特待生

本学への明確な入学目標があり、日本学校農業クラブ活動において活躍し、日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験で合格した学生について、入学年次の「前学期授業料(授業料以外の学納金および諸会費は納付が必要になります。)」を免除する制度です。

なお、日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験を受験し、入学した方の入学金は免除となります。

- ◆人数は全学類・コース(ただし、獣医学類を除く)合わせて9人です。

上記のうち、1および2の特待生を志望する場合は、Web出願登録時に申請希望の欄にチェックを入れるほか、申請書類の提出が必要です。

なお、入試特待生制度については変更となる場合があります。詳細は、6月中旬に受験生サイトにて公表予定の「2024入学試験要項」を必ずご確認ください。

兄弟姉妹等同時修学授業料減免について

酪農学園大学に複数の学生(兄弟姉妹、夫婦、親子)が同時に修学する家庭(授業料の負担者を同一とする)の2人目以降の下級年次学生(同一学年の場合は、戸籍上の下位者または入学年次が後の学生)に対し、後学期授業料から2分の1相当額を減免します。ただし、大学院と大学の同時修学は対象になりません(大学院は対象外です)。

同窓生子弟入学金減免について

同窓生の子(一親等)が入学する場合、入学金から10万円を入学後に還付します(7月頃予定)。ただし、他の入学金減免制度との重複適用はできません。

※同窓生とは酪農学園が設置している(いた)学校(酪農学園大学、酪農学園大学大学院、酪農学園短期大学、北海道文理科短期大学、酪農学園大学短期大学部、野幌機農高等学校、酪農学園機農高等学校、酪農学園大学附属高等学校、酪農学園女子高等学校、三愛女子高等学校、とわの森三愛高等学校など)の卒業生または課程修了者(大学院)です。

日本農業技術検定特待生制度について

日本農業技術検定は、農業を学ぶ学生や農業を仕事にしたい人のための検定です。高校在学中に2級(学科・実技)以上を取得した者については入学後、入学金を全額還付します(7月頃予定)。

※検定合格証書の写しを提出。

■各種減免制度早見表

	入 学 金	前学期授業料	後学期授業料
推薦入学試験特待生 ※推薦入試の受験者対象		全額免除	
後継者特待生 ※推薦入試の受験者対象		全額免除	
成績優秀者特待生 ※第1期学力入試・第2期学力入試、学力・共通テスト併用型入試、 共通テスト利用入試の受験者対象		全額免除	
日本学校農業クラブ活動特別推薦入学試験特待生 ※農ク推薦の受験者対象	全額免除	全額免除	
兄弟姉妹等同時修学授業料減免 ※本学に複数の学生が同時に修学する家庭対象			1/2減免
同窓生子弟入学金減免 ※父母が同窓生の受験者対象	10万円還付		
日本農業技術検定特待生 ※高校在学中に2級以上を取得の受験生	全額還付		

■風水害等に係る被害世帯の入学希望者の特別制度について

風水害等の災害を受けた世帯から、本学に2024年度入学を希望する受験生に対し、進学のを確保することを目的とし、以下の特別措置を講じます。

1. 特別措置の対象者

入学前1年以内において、入学希望者の学資負担者が風水害等の災害を受け、その世帯が災害救助法適用地域にある方。また、災害救助法の適用を受けない近隣の地域で、同等の災害にあった世帯の方。

2. 申請方法

出願前に入試広報センターまでご連絡ください(連絡先は巻末参照)。
志願書に「罹災証明書」を添付。

3. 特別措置の内容

- 2024年度の入学検定料の全額、および入学手続き時の入学金の全額免除。
- 他の本学の免除制度との重複適用を受けることができます。

4. 免除方法等

- 検定料:証明書(罹災証明書)の確認後に、検定料を志願者の指定口座に還付します。
- 入学金:検定料免除(還付)が認められた合格者の入学金は免除します。

短期貸付金制度

■三愛金庫による貸付金制度(無利子)

学生生活を送る中で、緊急帰省、その他不測の事態など、やむを得ない出費に備えた制度で、1人1回につき50,000円以内を無利子で貸与します。返済期間は60日以内です。

資格

■ 取得可能資格・任用資格・受験資格一覧(そのほかに学類の取り組みにより取得できる資格があります)

			農食環境学群				獣医学群	
			循環農学類 (酪農学コース) (畜産学コース) (農学コース) (農業経済学コース) (教職コース)	食と健康学類		環境共生学類 (野生動物学コース) (生命環境学コース)	獣医学類	獣医保健 看護学類
				(食資源開発学コース) (食品流通開発学コース) (教職コース)	管理栄養士 コース			
取得可能資格	中学校教諭 一種免許状	理科	●	●		●		
		社会	●	●				
	高等学校教諭 一種免許状	理科	●	●		●		
		農業	●	●				
		公民	●	●				
		准学校心理士	●	●		●		
		家畜人工授精師	●(牛)				●※1	●(牛)
		家畜体内受精移植・家畜体外受精移植	●				●※1	
	栄養士			●※2				
任用資格※3		食品衛生監視員	●	●	●※2		●※5	
		食品衛生管理者	●	●	●※2		●※5	
		飼料製造管理者	●				●※5	
		環境衛生監視員	●※8	●※8	●※8		●※5	
		狂犬病予防員					●※4	
		と畜検査員					●※4	
		薬事監視員					●※5	
受験資格		獣医師国家試験					●	
		管理栄養士国家試験			●			
		フードスペシャリスト			●			
		専門フードスペシャリスト(食品開発)			●			
		専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)			●			
		鳥獣管理士(準1級、2級、3級)				●※6		
		シカ捕獲認証(レベル1)				●		
		愛玩動物看護師国家試験						●
	ペット栄養管理士	●※7					●	

※1 獣医師免許取得者は自動的に資格を有します。 ※2 管理栄養士コース卒業者は自動的に資格を有します。
 ※3 任用資格とは卒業後、実務に就いた際、申請のうえ取得可能な資格です。 ※4 獣医師免許取得者はその業務を行うことができます。
 ※5 獣医学類を卒業することで任用資格を有する。 ※6 準1級は環境共生学類野生動物学コース卒業必須です。
 ※7 畜産学・農芸化学のいずれかの課程を修めた者。詳しくは日本ペット栄養学会のホームページをご覧ください。
 ※8 就職先の都道府県により判断が異なります。
 教職コースは教員免許資格取得が優先されるため、それ以外の資格が取得できない場合があります。
 編入学生はこれらの資格取得において、制限が発生する場合があります。

■ 獣医師国家試験 合格状況(過去10年間)

年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
2013	125	121	96.8(81.7)
2014	128	117	91.4(75.6)
2015	146	125	85.6(78.8)
2016	138	124	89.9(77.2)
2017	124	117	94.4(88.3)
2018	129	117	90.7(82.6)
2019	129	107	82.9(86.5)
2020	135	125	92.6(83.2)
2021	139	114	82.0(80.3)
2022	133	107	80.5(69.9)

()は全国平均

■ 管理栄養士国家試験 合格状況(過去10年間)

年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
2013	35	35	100.0(48.9)
2014	39	39	100.0(55.7)
2015	36	35	97.2(44.7)
2016	42	41	97.6(54.6)
2017	38	38	100.0(60.8)
2018	39	37	94.9(60.4)
2019	40	40	100.0(61.9)
2020	43	42	97.7(64.2)
2021	39	32	82.1(65.1)
2022	41	35	85.4(56.6)

()は全国平均

■ 愛玩動物看護師国家試験 合格状況

年度	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
2022	59	52	88.1(88.9)

()は全国平均

家畜(牛)人工授精師とは

農林水産省認定の国家資格です。本学が定める授業科目を履修し、単位を修得後、本学で開催される講習会^(注)を受講し、最終試験に合格すると「家畜人工授精師証」の申請に必要な「家畜人工授精師修業試験合格証」が取得できます。

有資格者は主に家畜人工授精所または農協・共済組合等の職員として家畜の人工授精業務に従事することができます。

(注)講習会の受講人数は循環農学類・獣医保健看護学類あわせて60名を予定しています。

食品衛生管理者とは

本学が定める授業科目を取得し、実務についての場合、与えられる資格です。

乳製品、厚生労働大臣が定めた添加物その他食品製造・加工の過程において、特に衛生上の考慮を必要とする食品・添加物の製造・加工の衛生管理、ならびに加工に従事する者を監督するものです。上記の製造・加工を行う営業者は、その製造・加工を衛生的に管理させるため、その施設ごとに、専任の食品衛生管理者を置くことが必要です。

食品衛生監視員とは

本学が定める授業科目を取得し、その資格を前提として国家(地方)公務員として採用された場合に付与される資格です。

食品、添加物、器具及び容器包装の輸入に係る監視指導を行うものです。また、地方公務員においては、都道府県知事等の命を受け、都道府県等食品衛生監視指導計画の定めるところにより、各営業の施設等における食品、添加物等の衛生監視指導を行うものです。

フードスペシャリストとは

食の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあることをしっかり学び、食に関する幅広い知識と技術を身につけた食の専門家です。フードスペシャリストは、食品の開発製造、流通、販売、外食などを担う食品産業をはじめ、食関係の広範な分野での活躍が期待されている資格です。公益社団法人日本フードスペシャリスト協会が認定します。『フードスペシャリスト資格』と、『専門フードスペシャリスト(食品開発)資格』、『専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格』があります。

栄養士・管理栄養士とは

本学の食と健康学類管理栄養士コースを卒業した時点で栄養士免許証が交付され、国家試験に合格すると管理栄養士免許証が交付されます。栄養士と管理栄養士には次のような違いがあります。

- 栄養士とは栄養のバランスを考えた献立の作成、調理法の改善・指導を行う人のことです。
- 管理栄養士とは栄養士より高度な専門的知識・技術をもって健康の保持増進のため複雑または困難な栄養指導を行う人のことです。

高等学校・中学校教諭一種免許状とは

本学では教職課程に登録し、必要な単位を修得することで、教員免許状を取得することができます。取得できるのは、農業、理科(中学・高校)、社会、公民です。学類によって取得できる免許の種類が異なります。

准学校心理士とは

一般社団法人学校心理士認定運営機構が認定する資格で、学校心理士に準ずる資格です。

教職課程に登録し、必要な単位を修得、かつ本人が大学を通じて申請し、承認後に取得することができます。

「准学校心理士」取得後、3年間の実務経験と、指定された研修に参加し、条件を満たすと「学校心理士」を受験することができます。

学校生活における様々な問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリング等を通して、子ども自身、子どもを取り巻く保護者や教師、学校に対して、「学校心理学」の専門的知識と技能をもって、心理教育的援助サービスを行うことができます。

酪農学園大学 ミニ出張オープンキャンパスに 参加しませんか

ミニ出張オープンキャンパスとは？

ミニ出張オープンキャンパスでは大学概要や学類紹介、キャンパスライフ紹介、個別相談を行います。本学まではなかなか来られないという方もこの機会に疑問や不安を解決しませんか？
学びや入試の相談だけでなく学生生活、北海道での暮らしについてのご相談も大歓迎です！
会場にはオンラインで教員と学生も参加し、個別相談を行います！

in 名古屋

TKP名古屋栄
カンファレンスセンター

5月28日Ⓜ

in 大阪

大阪公立大学
I-siteなんば

6月3日Ⓜ

in 東京

ビジョンセンター品川

6月10日Ⓜ

in 福岡

TKPガーデンシティ
天神

6月17日Ⓜ

in 仙台

TKPガーデンシティ
PREMIUM仙台西口

6月24日Ⓜ

※社会情勢の変化等により、日程が変更となる場合があります。
最新情報は随時ホームページにてご案内いたします。

申込はマイページを
ご登録ください。



会場や開催時間の詳細は
受験生サイトを
ご参照ください。



受験生サイト

学内見学受付中

オープンキャンパスには参加できないけど、実際にキャンパスを見てみたい! 学内の雰囲気を経験したい! 入試の相談もしたい! という皆さんをお待ちしています。

学内見学期間	5月1日～10月31日まで(土曜・日曜・祝日および8月10日～17日を除く)
時間	9:00～16:00
主な見学先	フィールド教育研究センター、附属動物医療センター、環境共生学類実験実習施設、学生寮、附属図書館、講義棟、体育施設など
申込方法	入試広報センターのスタッフがご案内します(約1～2時間)。 入試のこと、大学のこと、気軽に何でも聞いてください。 見学をご希望の方は、 原則として2週間前までに希望日時を入試広報センターにご連絡ください。 申込受付時間:月～金 8:30～17:00 ☎ 0120-771-663 TEL 011-388-4158 FAX 011-388-4157 E-mail:koho@rakuno.ac.jp

※社会情勢の変化等により、受入人数の制限および見学内容の変更を行う(または中止となる)場合があります。



- 農食環境学群 循環農学類 食と健康学類 環境共生学類
- 獣医学群 獣医学類 獣医保健看護学類

<https://www.rakuno.ac.jp>

〒069-8501
北海道江別市文京台緑町582番地
入試広報センター直通

TEL (011)388-4138
FAX (011)386-1220
☎ 0120-771-663

酪農学園大学
受験生サイト



障がいがある方への支援について
受験や就学については事前にご相談ください。

対応端末で読みとっていただき、
直接サイトへアクセスしてください。